

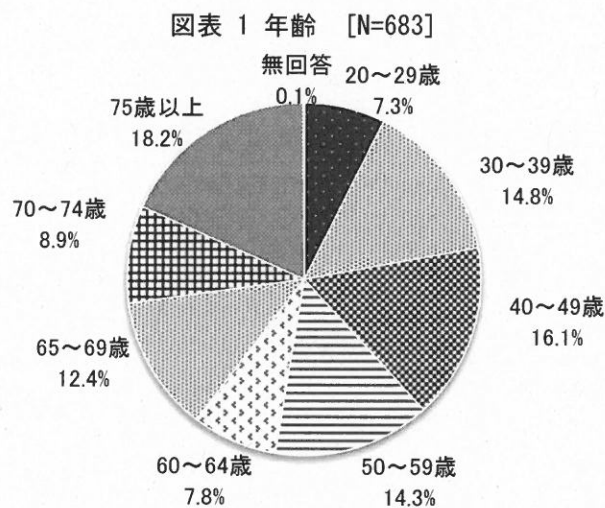
2. 泉大津市の教育・生涯学習に関するアンケート調査 (市民調査)

(1) 回答者の属性

①年齢

問1 あなたの年齢は次のうちどれですか。(ひとつに○)

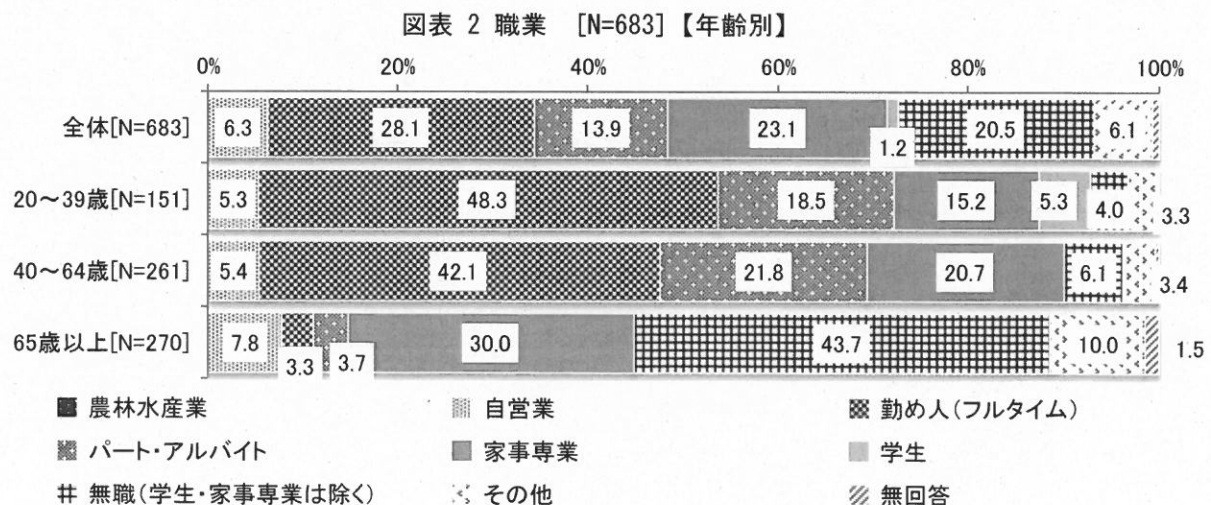
回答者の年齢は、「75歳以上」が18.2%、「40～49歳」が16.1%、「30～39歳」が14.8%、「50～59歳」が14.3%となっており、年齢層は比較的分散しています。



②職業

問2 あなたの職業は次のうちどれですか。(ひとつに○)

職業について聞いたところ、「勤め人(フルタイム)」が28.1%、「家事専業」が23.1%、「無職(学生・家事専業は除く)」が20.5%となっています。年齢別では64歳以下の人で「勤め人(フルタイム)」が多くなっています。

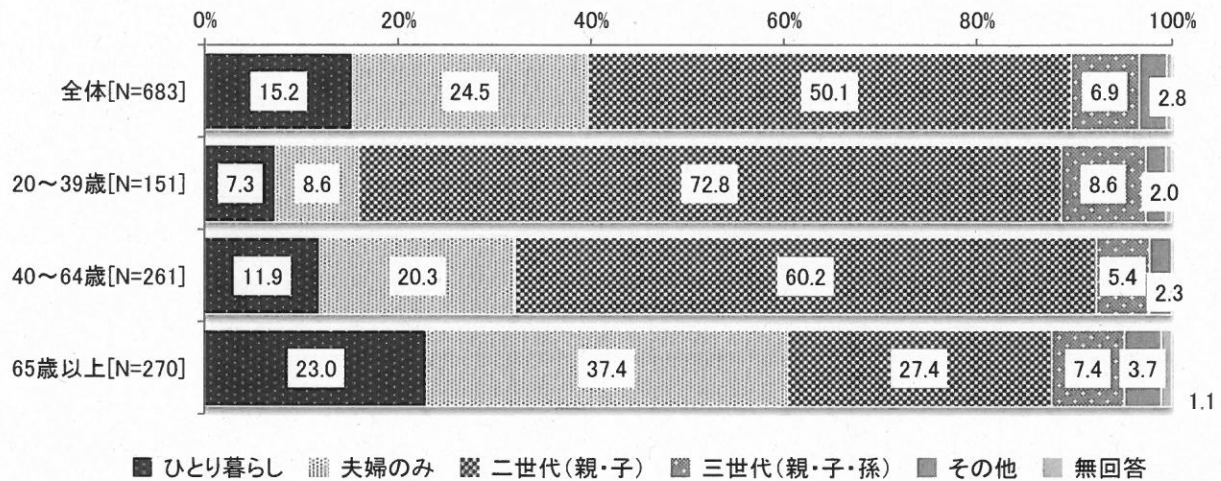


③世帯構成

問3 あなたの世帯の家族構成は次のうちどれですか。(ひとつに○)

回答者の世帯構成は、「二世帯(親・子)」が50.1%と半数を占めます。また、「夫婦のみ」が24.5%、「ひとり暮らし」が15.2%となっています。年齢別では、65歳以上で「夫婦のみ」、「ひとり暮らし」が他の年齢層と比較して多くなっています。

図表3 世帯構成 [N=683] 【年齢別】

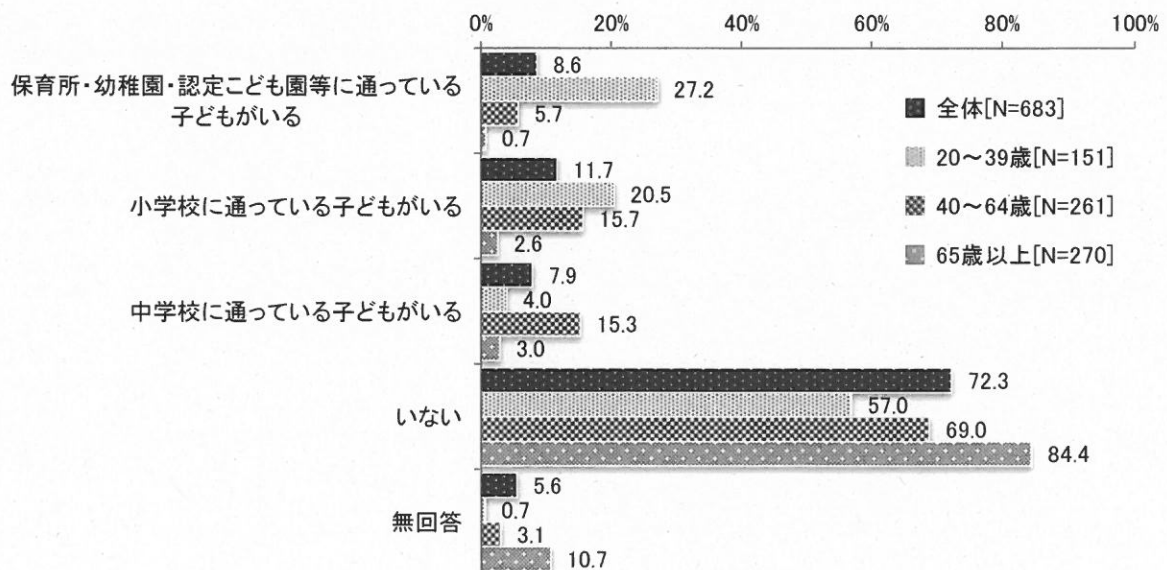


④子どもの同居家族

問4 あなたと一緒に暮らしている家族の中に、中学校までの学校などに通っている子どもはいますか。(あてはまるものすべてに○)

同居家族に中学生以下の子どもがいるかどうかを聞いたところ、「いない」が72.3%と多くを占めます。年齢別では、20~39歳で小学校までの子どもがいる人が比較的多くなっています。

図表4 子どもの同居家族 [N=683] 【年齢別】

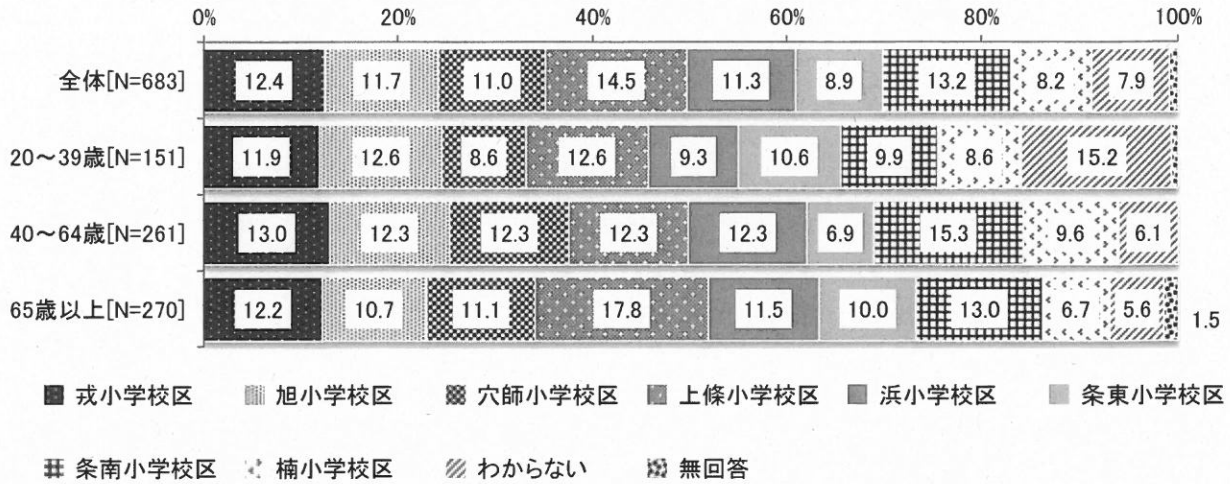


⑤居住地域

問5 あなたのお住まいの地域（小学校区）は次のうちどれですか。（ひとつに○）

回答者の居住地域は、「上條小学校区」が14.5%、「条南小学校区」が13.2%、「戎小学校区」が12.4%、「旭小学校区」が11.7%、「浜小学校区」が11.3%、「穴師小学校区」が11.0%となっています。

図表5 居住地域 [N=683] 【年齢別】

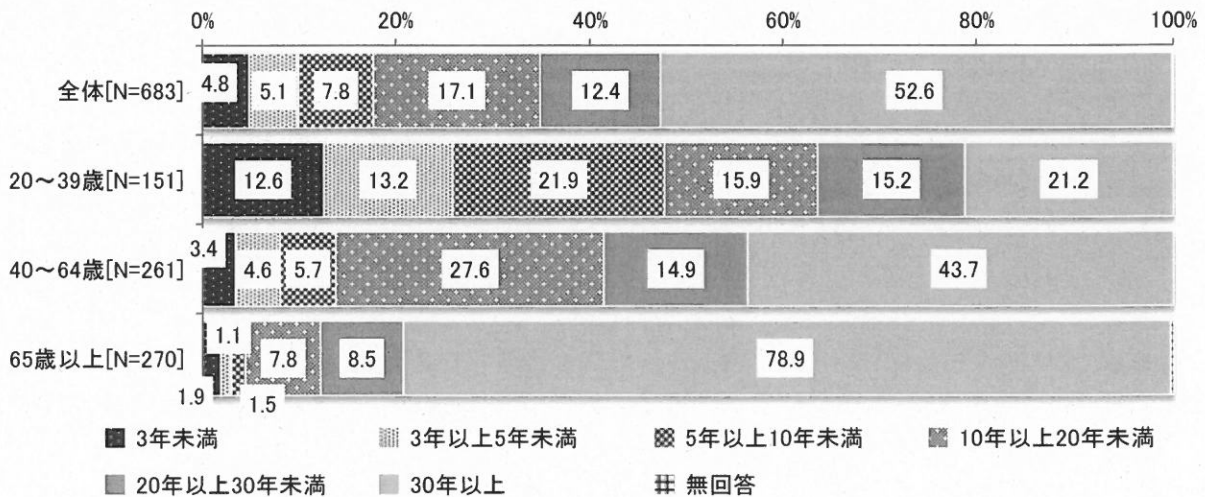


⑥居住年数

問6 あなたは、泉大津市に住んでどれぐらいになりますか。（ひとつに○）

居住年数について聞いたところ、「30年以上」が52.6%と半数以上を占めます。次いで、「10年以上20年未満」が17.1%、「20年以上30年未満」が12.4%となっています。年齢別では、年齢層が上がるほど居住年数の長い人が多くなっています。

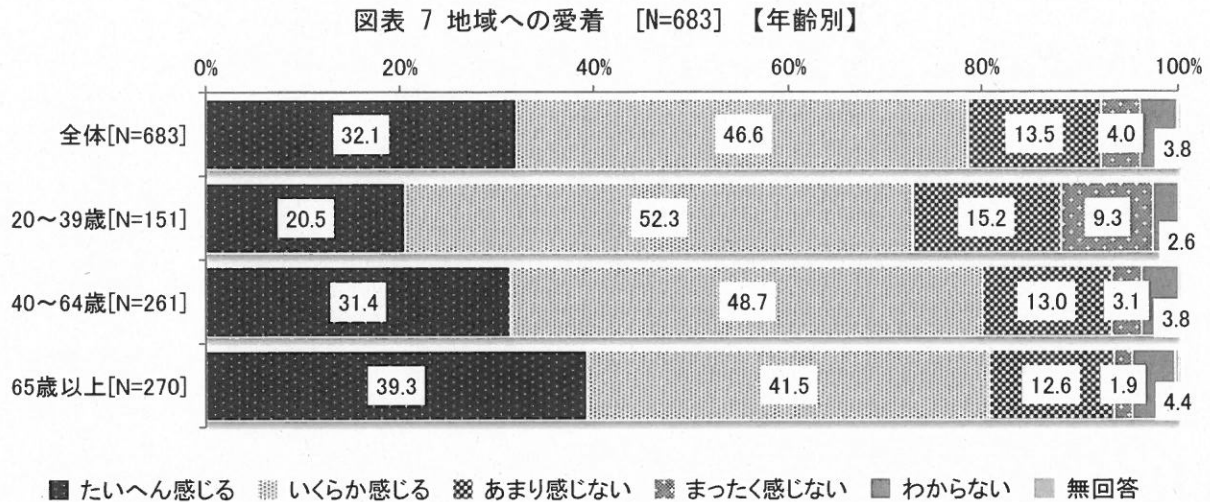
図表6 居住年数 [N=683] 【年齢別】



⑦地域への愛着

問7 あなたは、今お住まいの地域に愛着を感じますか。(ひとつに○)

地域への愛着について聞いたところ、「いくら感じる」が46.6%、「たいへん感じる」が32.1%となっており、多くの方が愛着を感じています。年齢別では、年齢が上がるほど愛着を「たいへん感じる」という人が多くなっています。

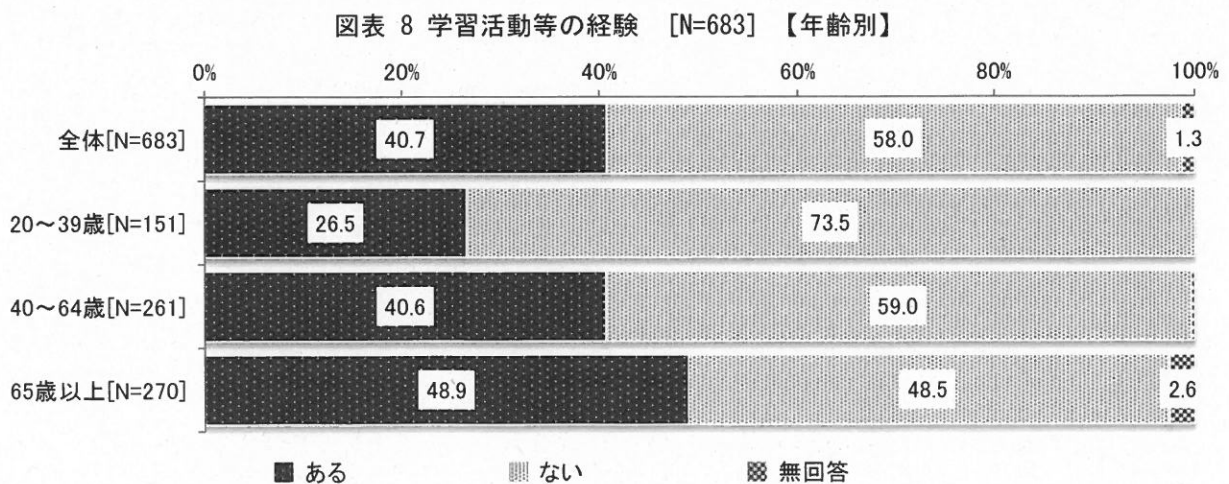


(2) 自主的な学習活動やスポーツ活動などについて

①学習活動等の経験

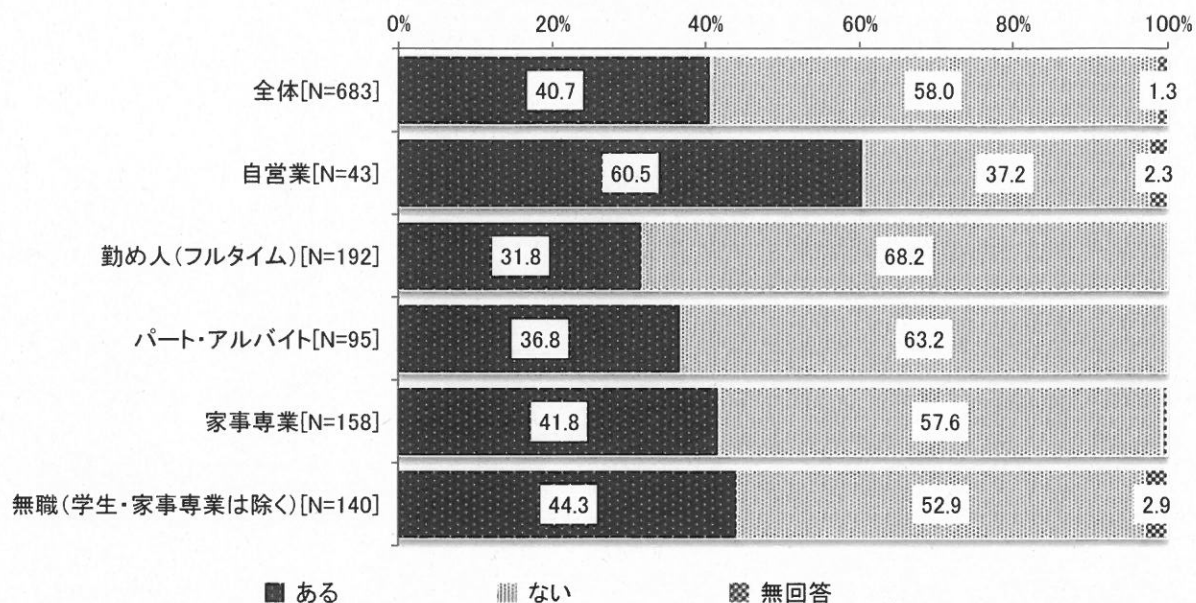
問8 あなたは、この1年ぐらいの間に、自主的な学習活動、文化・芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動などをしたことがありますか。(ひとつに○)

自主的な学習活動等の経験について聞いたところ、「ない」が58.0%、「ある」が40.7%となっており、ある人とない人の比率はほぼ4：6です。年齢別では、年齢が上がるほど「ある」という人が多くなっています。



職業別でみると、勤め人（フルタイム）の人では、自主的な学習活動等の経験が「ある」という人が少なくなっています。

図表 9 学習活動等の経験 [N=683] 【職業別】



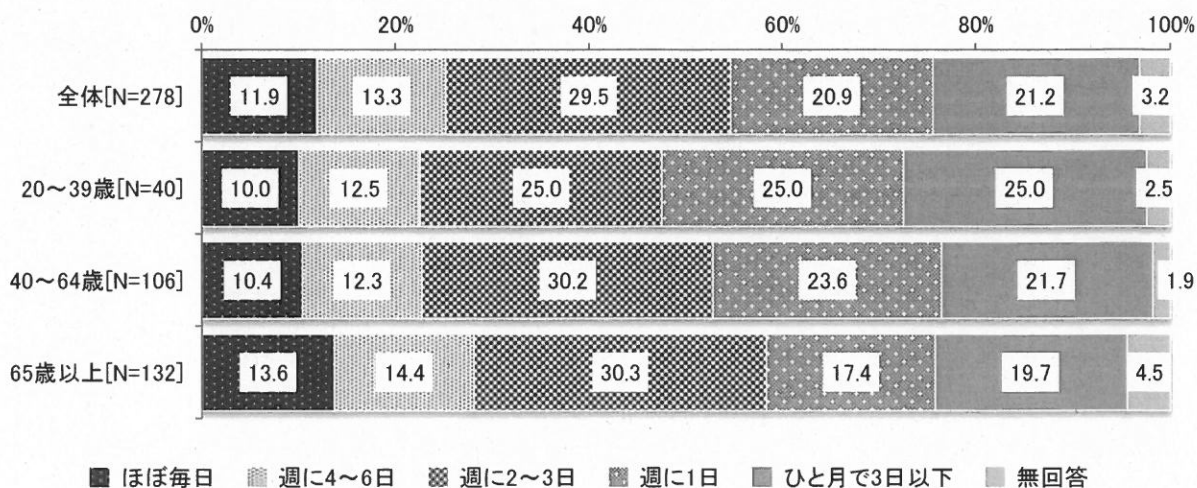
①-1 活動日数

問9 前問（問8）で「ある」とお答えの方にお聞きします。

(1) 活動を行う日数は、1か月のうち、平均で何日ぐらいですか。（ひとつに〇）

自主的な学習活動等の経験のある人に、その活動日数について聞いたところ、「週に2~3日」が29.5%、「ひと月で3日以下」が21.2%、「週に1日」が20.9%となっており、比較的分散しています。

図表 10 活動日数 [N=278] 【年齢別】

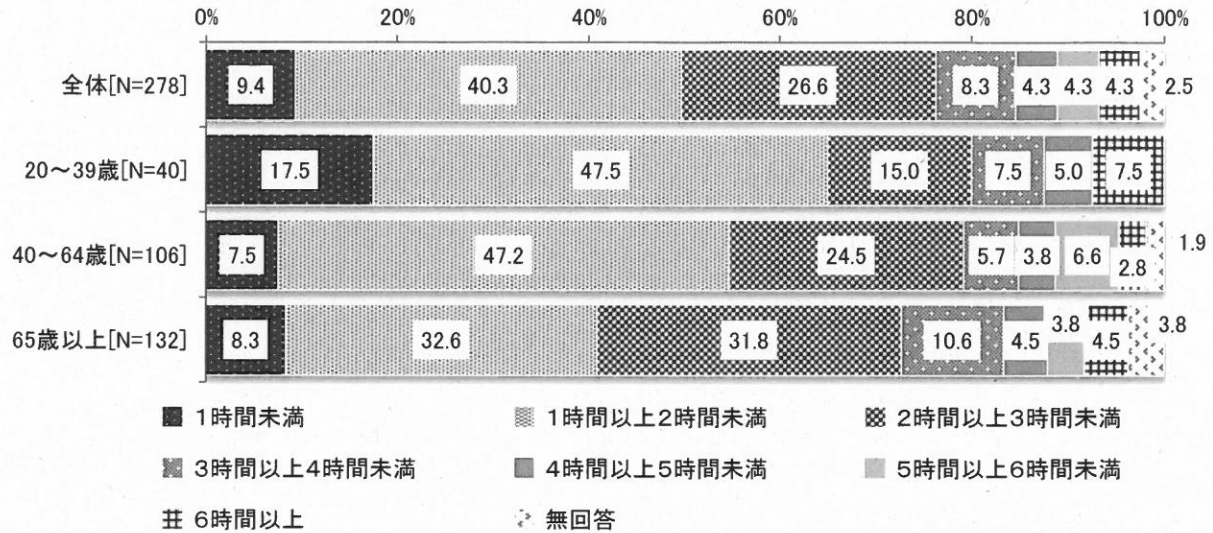


①-2 活動時間数

(2) 活動を行う日には、平均で何時間ぐらい活動をしますか。(ひとつに○)

1回あたりの活動時間数については、「1時間以上2時間未満」が40.3%、「2時間以上3時間未満」が26.6%となっており、1～3時間程度の活動が多くなっています。年齢別では、年齢が上がるほど活動時間が長くなる傾向となっています。

図表 11 活動時間数 [N=278] 【年齢別】



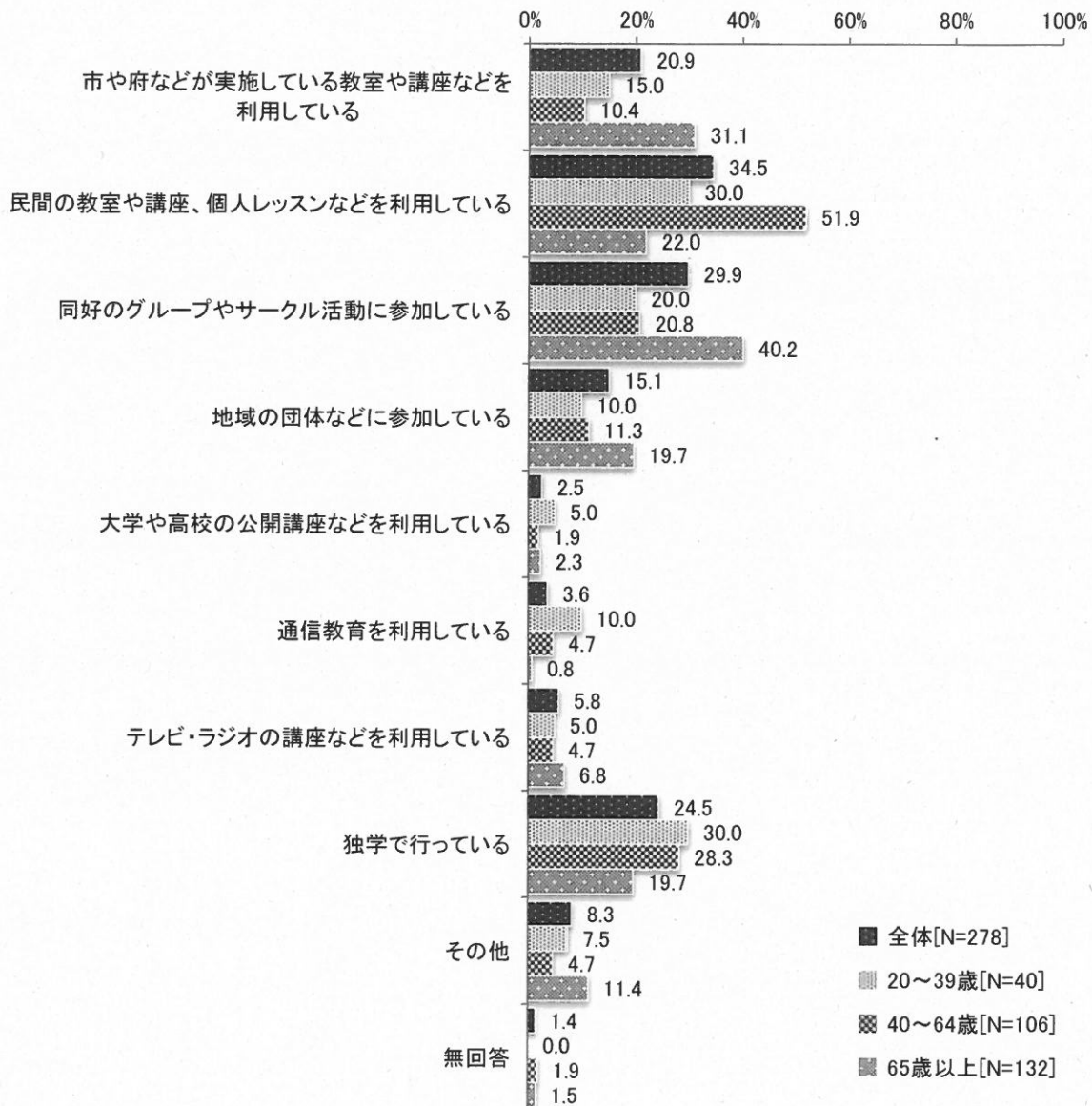
①-3 活動方法

(3)活動をどのような方法で行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

活動方法については、「民間の教室や講座、個人レッスンなどを利用している」が34.5%、「同好のグループやサークル活動に参加している」が29.9%、「独学で行っている」が24.5%、「市や府などが実施している教室や講座などを利用している」が20.9%となっています。

年齢別で見ると、40～64歳で、「民間の教室や講座、個人レッスンなどを利用している」という人が多くなっています。また、65歳以上では、「同好のグループやサークル活動に参加している」、「市や府などが実施している教室や講座などを利用している」という人が多くなっています。

図表 12 活動方法 [N=278] 【年齢別】

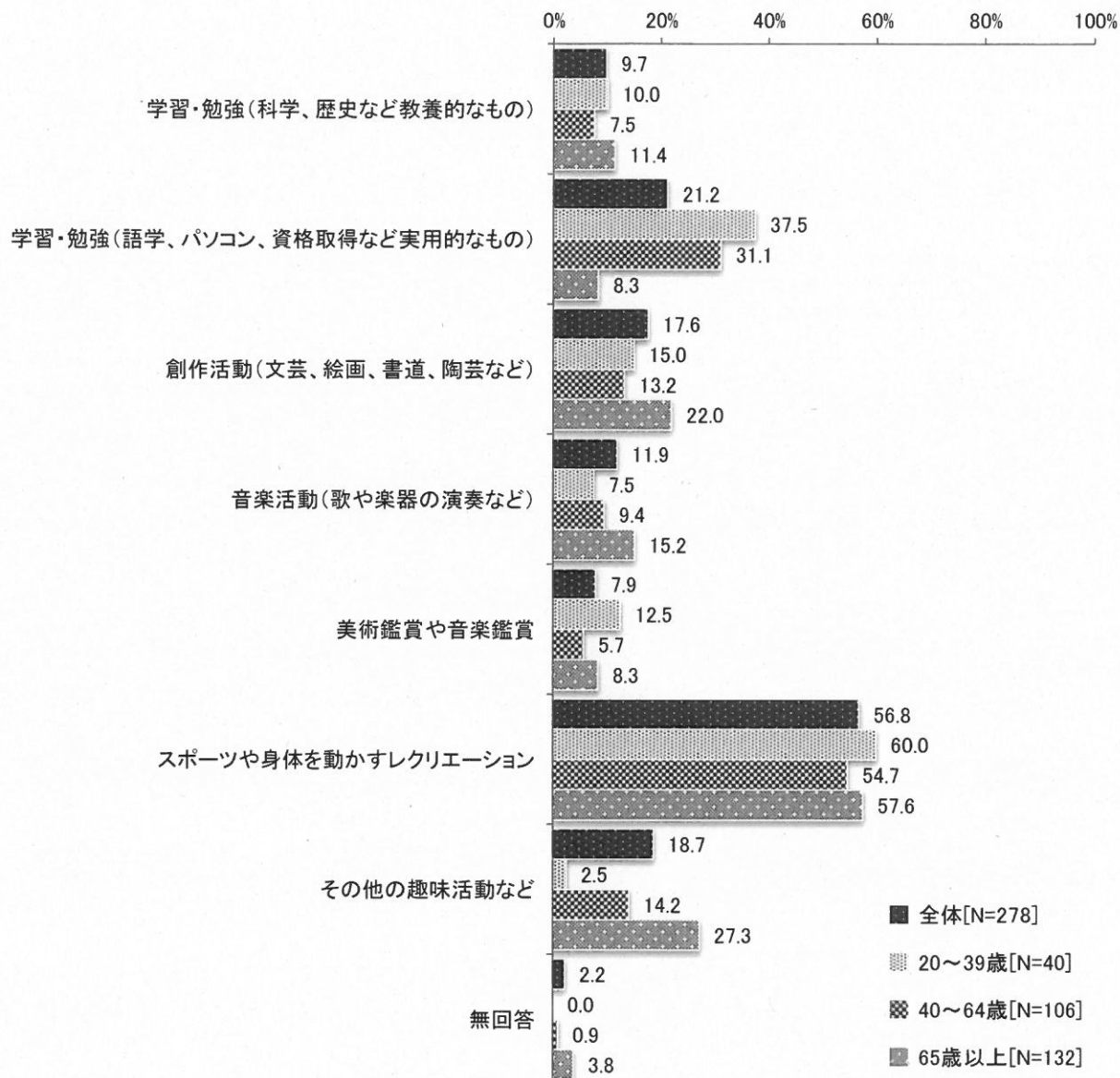


①-4 活動内容

(4) 行っている活動の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

活動内容については、「スポーツや身体を動かすレクリエーション」が56.8%と多く、半数以上の方があげています。年齢別でみると、20～39歳の人では、他の年齢層と比較して「学習・勉強(語学、パソコン、資格取得など実用的なもの)」をあげる人が多くなっています。

図表 13 活動内容 [N=278] 【年齢別】

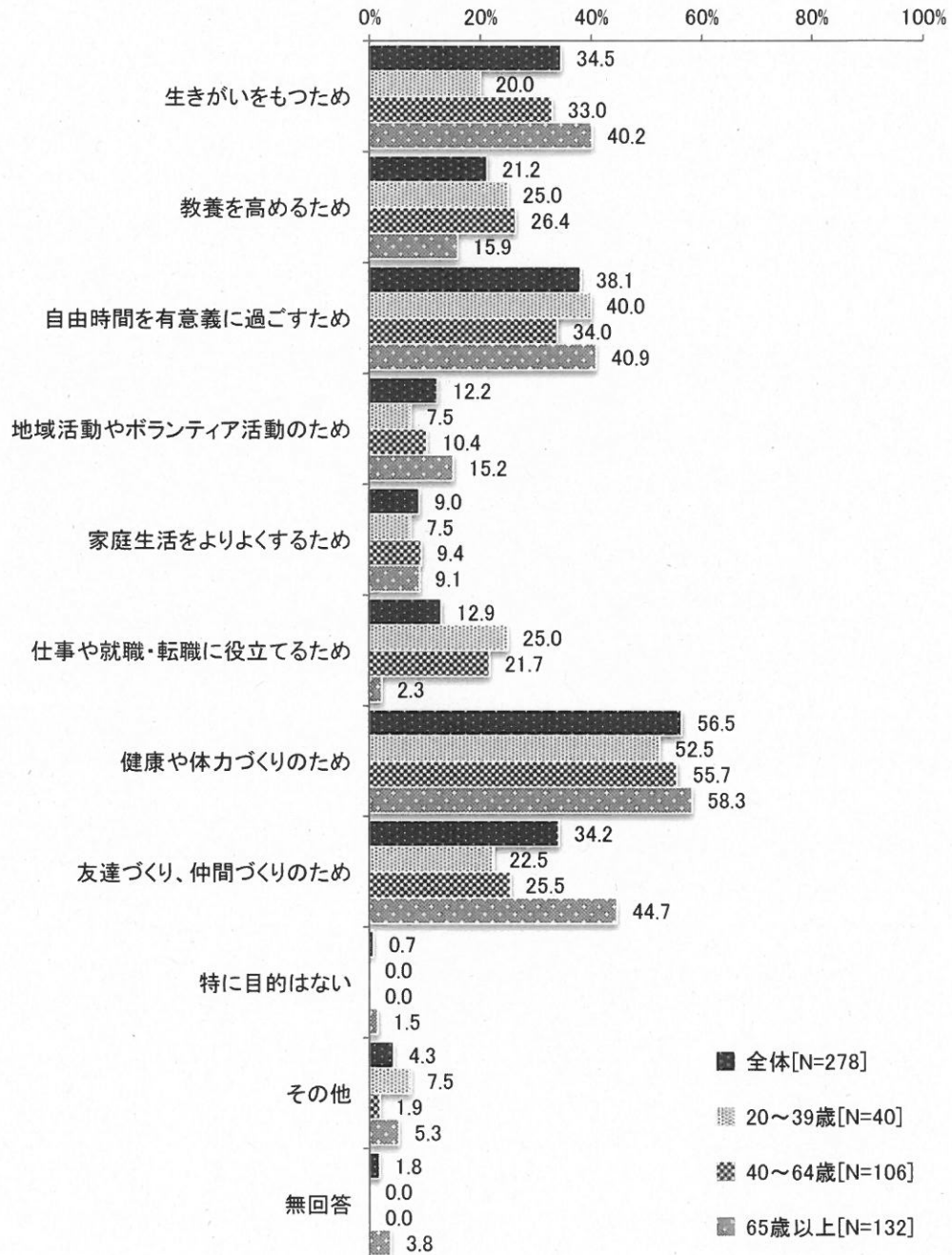


①-5 活動目的

(5)活動を行っている目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

活動目的については、「健康や体力づくりのため」が56.5%と最も多く、次いで、「自由時間を有意義に過ごすため」が38.1%、「生きがいをもつため」が34.5%、「友達づくり、仲間づくりのため」が34.2%となっています。年齢別では、65歳以上の人で、「友達づくり、仲間づくりのため」をあげる人が他の年齢層と比べて多くなっています。

図表 14 活動目的 [N=278] 【年齢別】



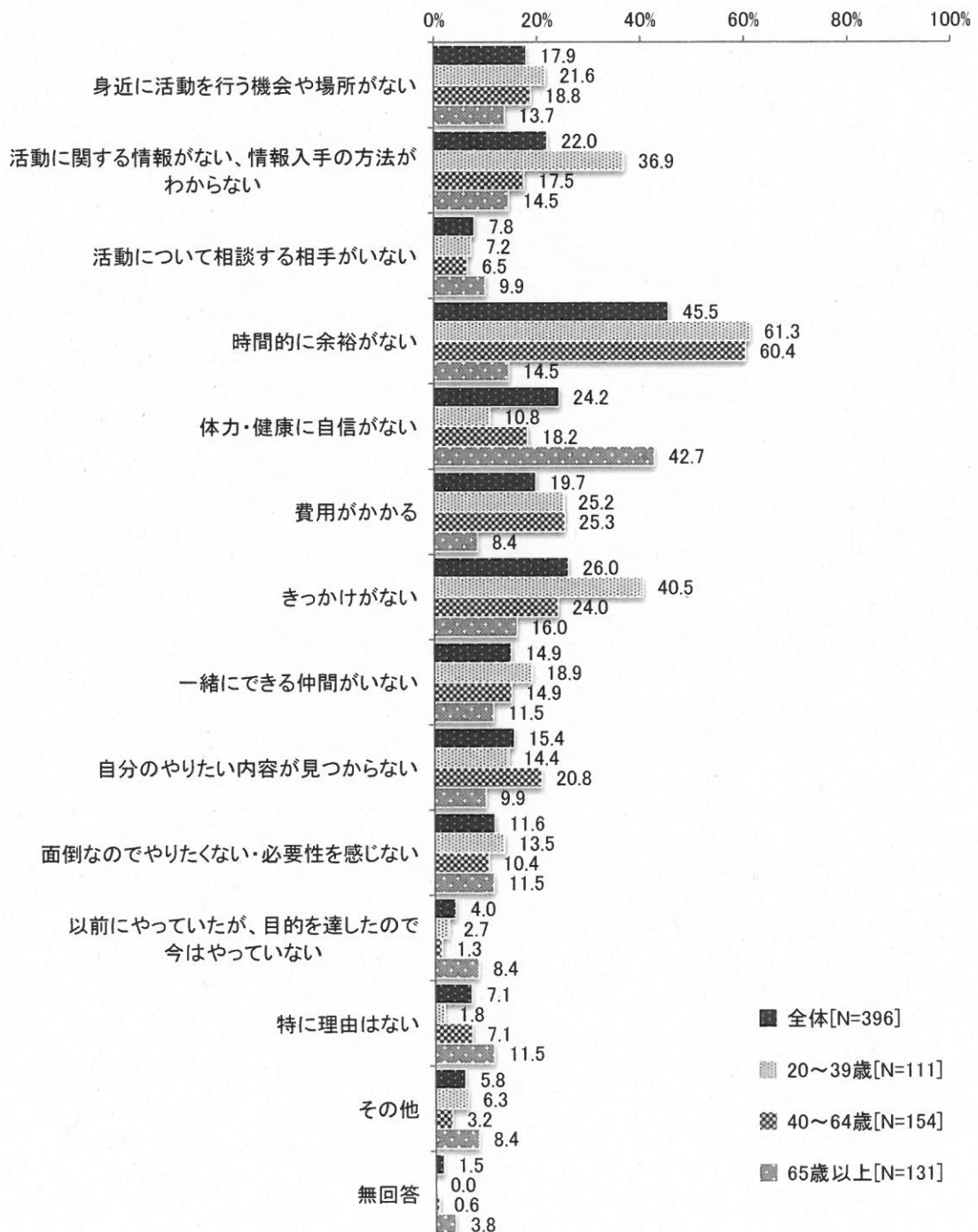
①-6 活動を行っていない理由

問10 前問（問8）で「ない」とお答えの方にお聞きます。あなたが活動を行っていない理由は何か。（あてはまるものすべてに○）

自主的な学習活動等の経験のない人に、活動を行っていない理由を聞いたところ、「時間的に余裕がない」が45.5%と最も多く、次いで、「きっかけがない」が26.0%、「体力・健康に自信がない」が24.2%となっています。

年齢別では、64歳以下の人では「時間的に余裕がない」、65歳以上の人では「体力・健康に自信がない」が多くなっています。

図表 15 活動を行っていない理由 [N=396] 【年齢別】



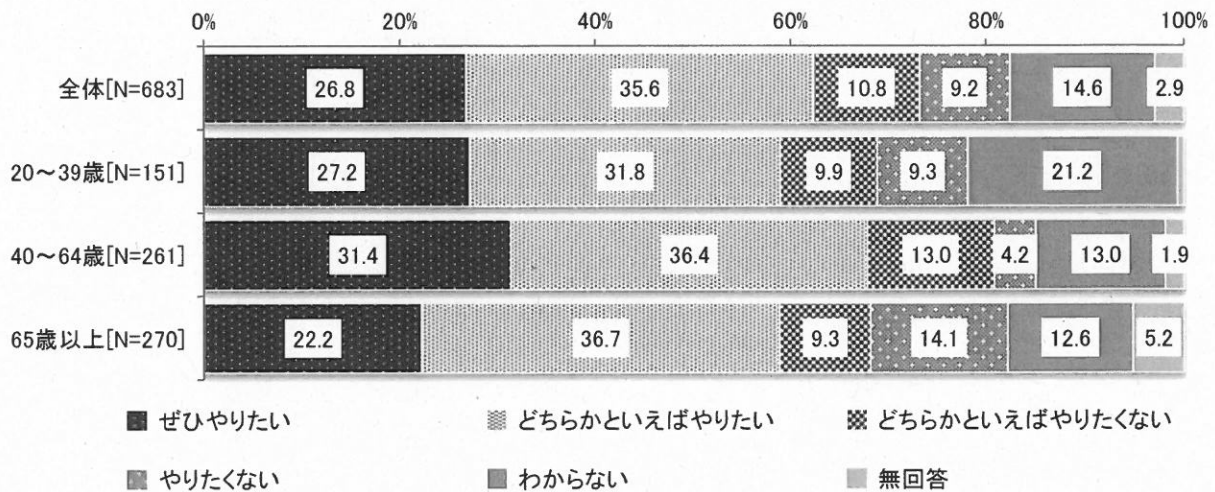
②今後の活動意向

問 11 あなたは今後、自主的な学習活動、文化・芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動などをやりたいと思いますか。現在活動している人も含め、全員の方がお答えください。（ひとつに〇）

全員に対し、今後の自主的な学習活動などの意向について聞いたところ、「どちらかといえばやりたい」が35.6%、「ぜひやりたい」が26.8%となっており、取り組みたいという意向を持つ人が多くなっています。

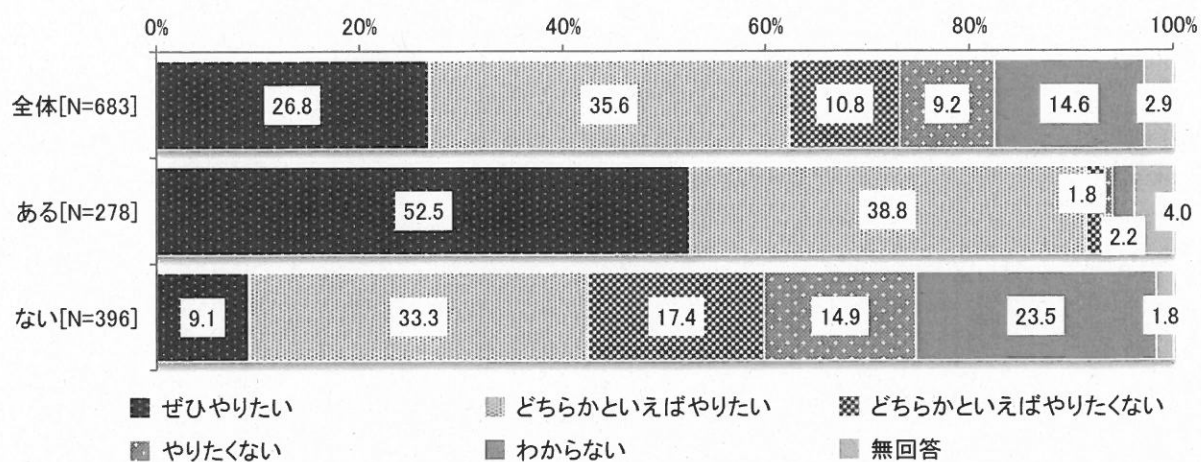
年齢別で見ると、40～64歳の人で「ぜひやりたい」という人が多くなっています。

図表 16 今後の活動意向 [N=683] 【年齢別】



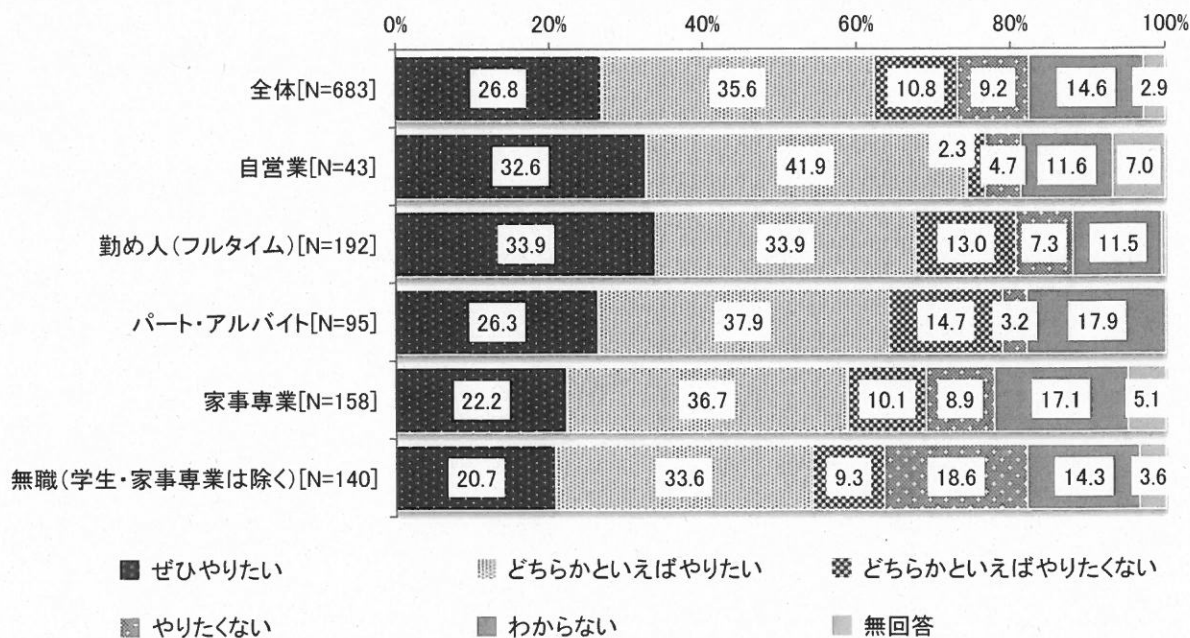
学習活動等の経験の有無別で見ると、経験のある人では半数以上の人々が今後も「ぜひやりたい」としてしています。経験のない人では、「ぜひやりたい」、「どちらかといえばやりたい」という人が合わせて4割程度となっています。

図表 17 今後の活動意向 [N=683] 【学習等経験有無別】



職業別で見ると、勤め人（フルタイム）の人で「ぜひやりたい」という人が多くなっています。

図表 18 今後の活動意向 [N=683] 【職業別】



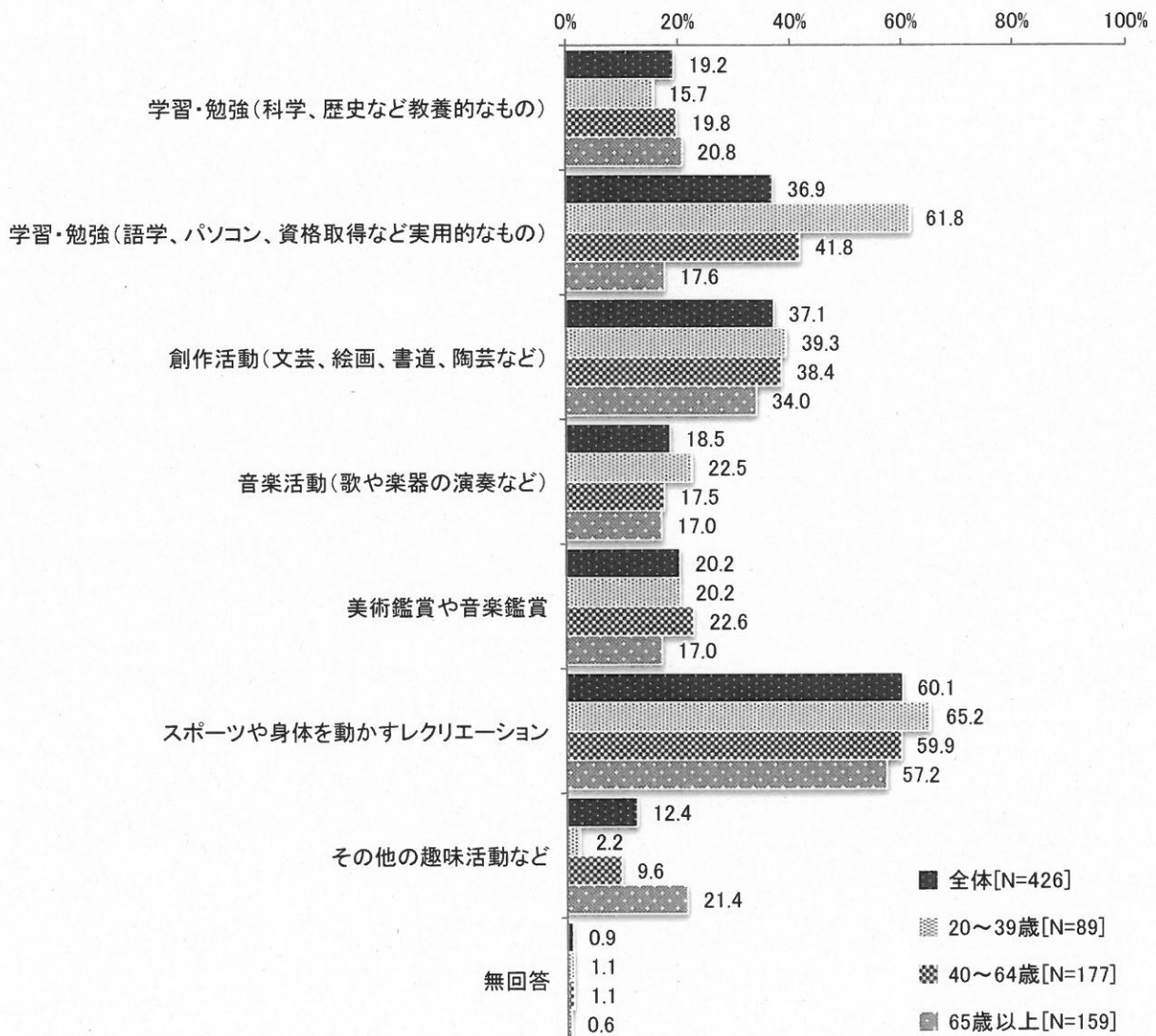
②-1 活動したい内容

問 12 前問（問 11）で「ぜひやりたい」「どちらかといえばやりたい」とお答えの方にお聞きします。どのような活動を行いたいですか。（あてはまるものすべてに○）

活動したい内容について聞いたところ、「スポーツや身体を動かすレクリエーション」が 60.1%、「創作活動（文芸、絵画、書道、陶芸など）」が 37.1%、「学習・勉強（語学、パソコン、資格取得など実用的なもの）」が 36.9%、「美術鑑賞や音楽鑑賞」が 20.2%、「学習・勉強（科学、歴史など教養的なもの）」が 19.2%、「音楽活動（歌や楽器の演奏など）」が 18.5%、「その他の趣味活動など」が 12.4%となっています。

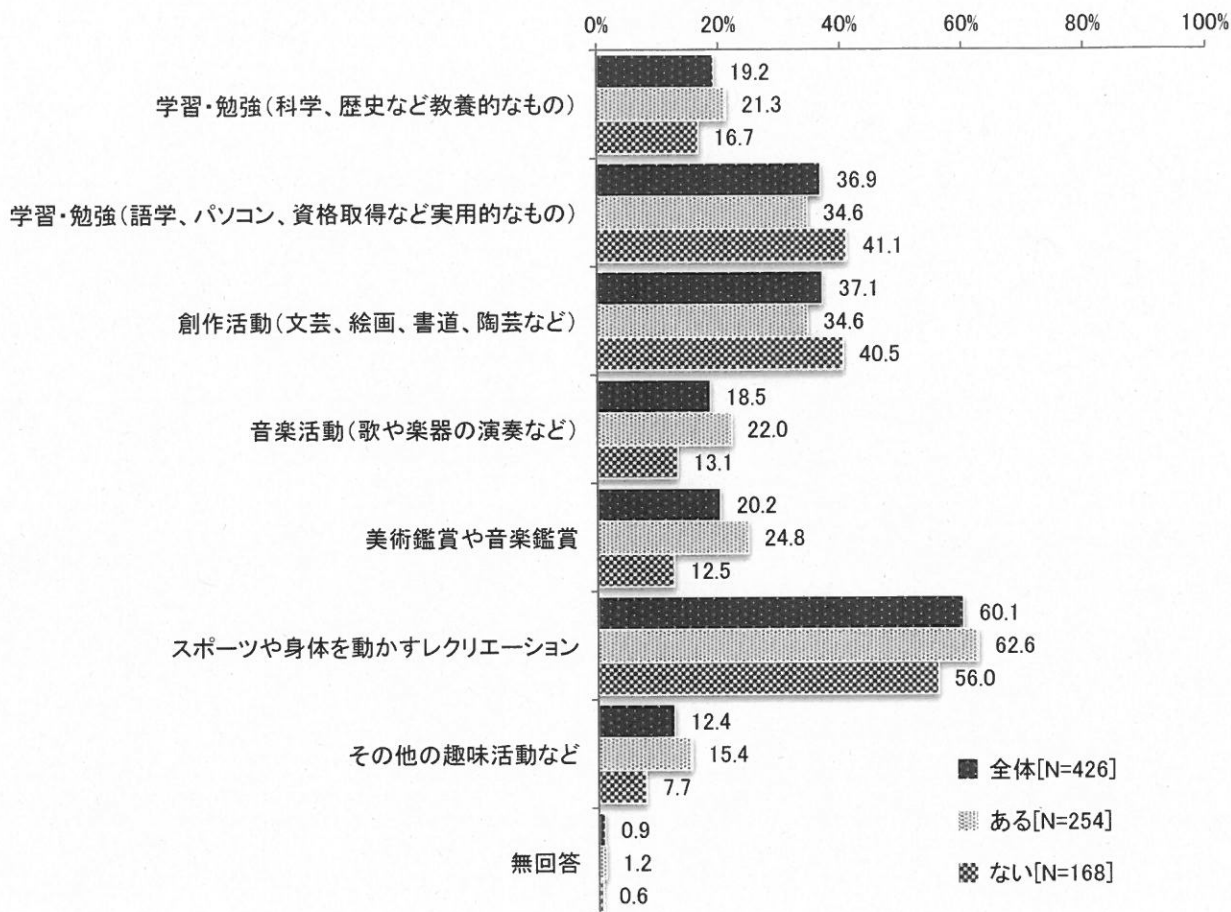
年齢別でみると、20～39歳の人で、「学習・勉強（語学、パソコン、資格取得など実用的なもの）」をあげる人が他の年齢層と比較して多くなっています。

図表 19 活動したい内容 [N=426] 【年齢別】



学習活動等の経験の有無別で見ると、経験のない人では、経験のある人に比べて「学習・勉強（語学、パソコン、資格取得など実用的なもの）」、「創作活動（文芸、絵画、書道、陶芸など）」をあげる人が比較的多くなっています。

図表 20 活動したい内容 [N=426] 【学習等経験有無別】



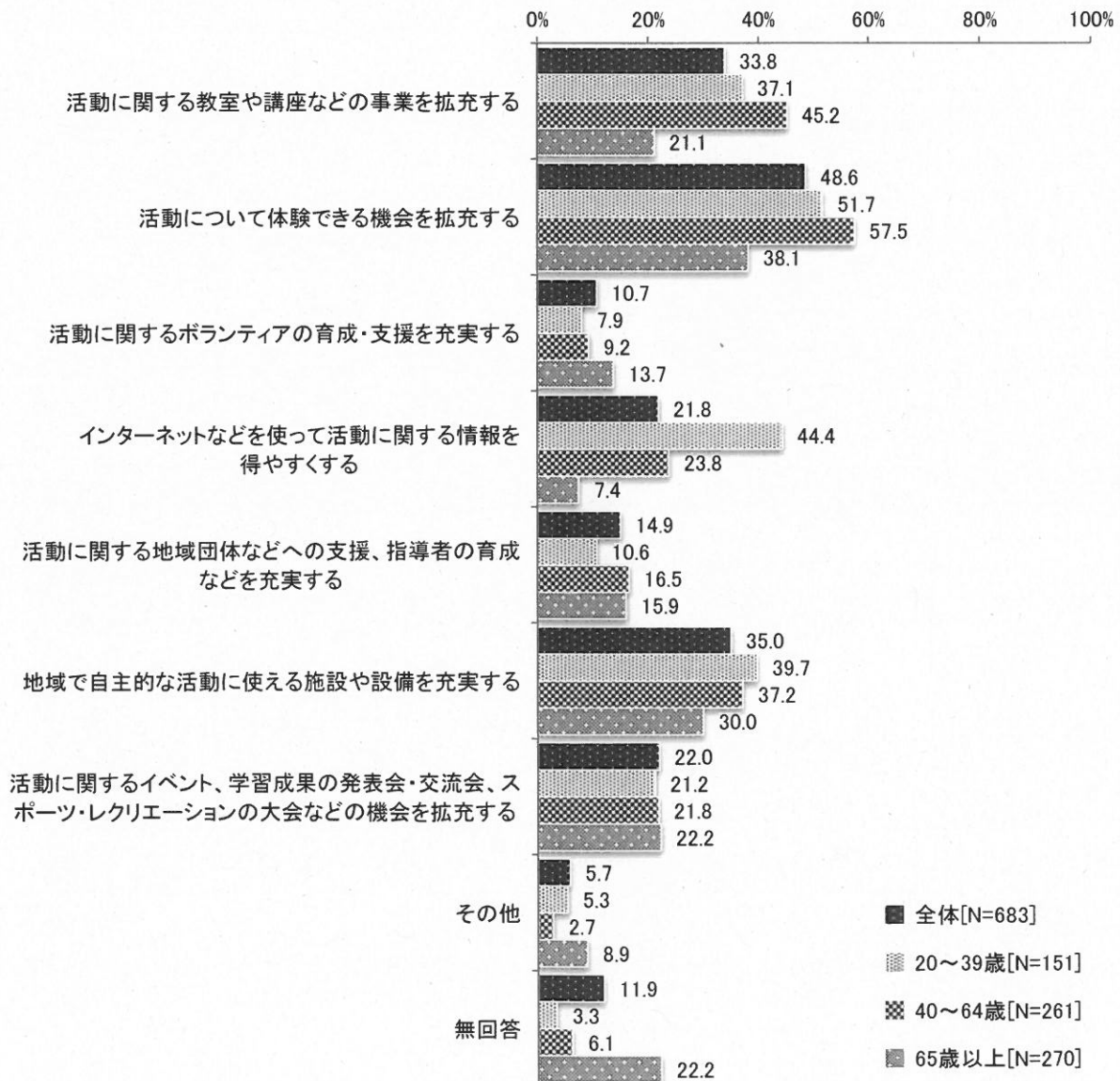
③活動を活発にするために有効なこと

問 13 市民の自主的な学習活動、文化・芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動などを活発にするためには、どのような取組みが有効だと思いますか。（3つまで選んで○）

活動を活発にするために有効なことについて聞いたところ、「活動について体験できる機会を拡充する」が48.6%となっており、ほぼ半数の人があげています。その他、「地域で自主的な活動に使える施設や設備を充実する」が35.0%、「活動に関する教室や講座などの事業を拡充する」が33.8%、「活動に関するイベント、学習成果の発表会・交流会、スポーツ・レクリエーションの大会などの機会を拡充する」が22.0%、「インターネットなどを使って活動に関する情報を得やすくする」が21.8%となっています。

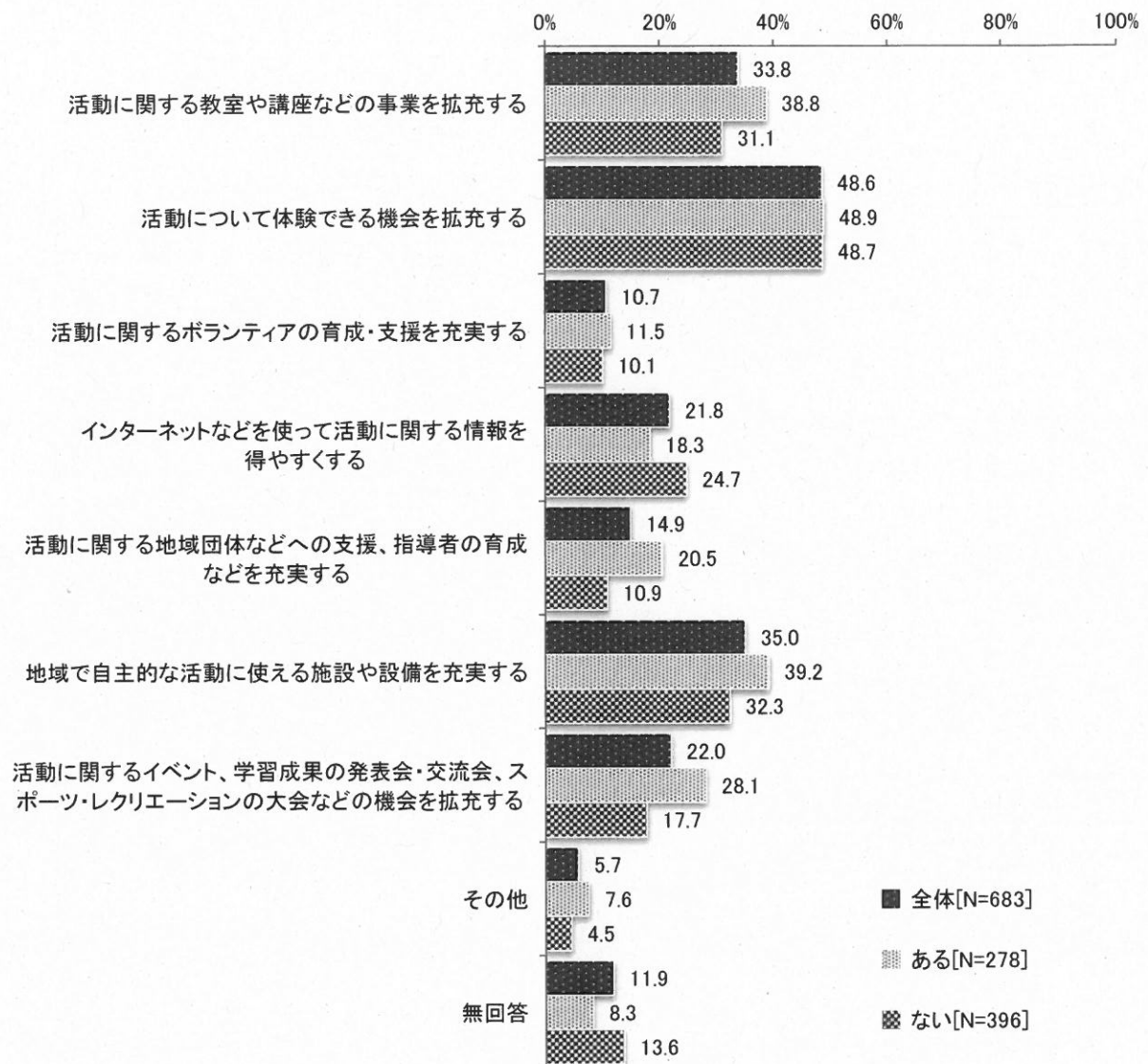
年齢別で見ると、20～39歳の人で、「インターネットなどを使って活動に関する情報を得やすくする」をあげる人が他の年齢層と比較して多くなっています。

図表 21 活動を活発にするために有効なこと [N=683] 【年齢別】



学習活動等の経験の有無別でみると、経験のない人では、「インターネットなどを使って活動に関する情報を得やすくする」をあげる人が経験のある人に比べて多くなっています。

図表 22 活動を活発にするために有効なこと [N=683] 【学習等経験有無別】



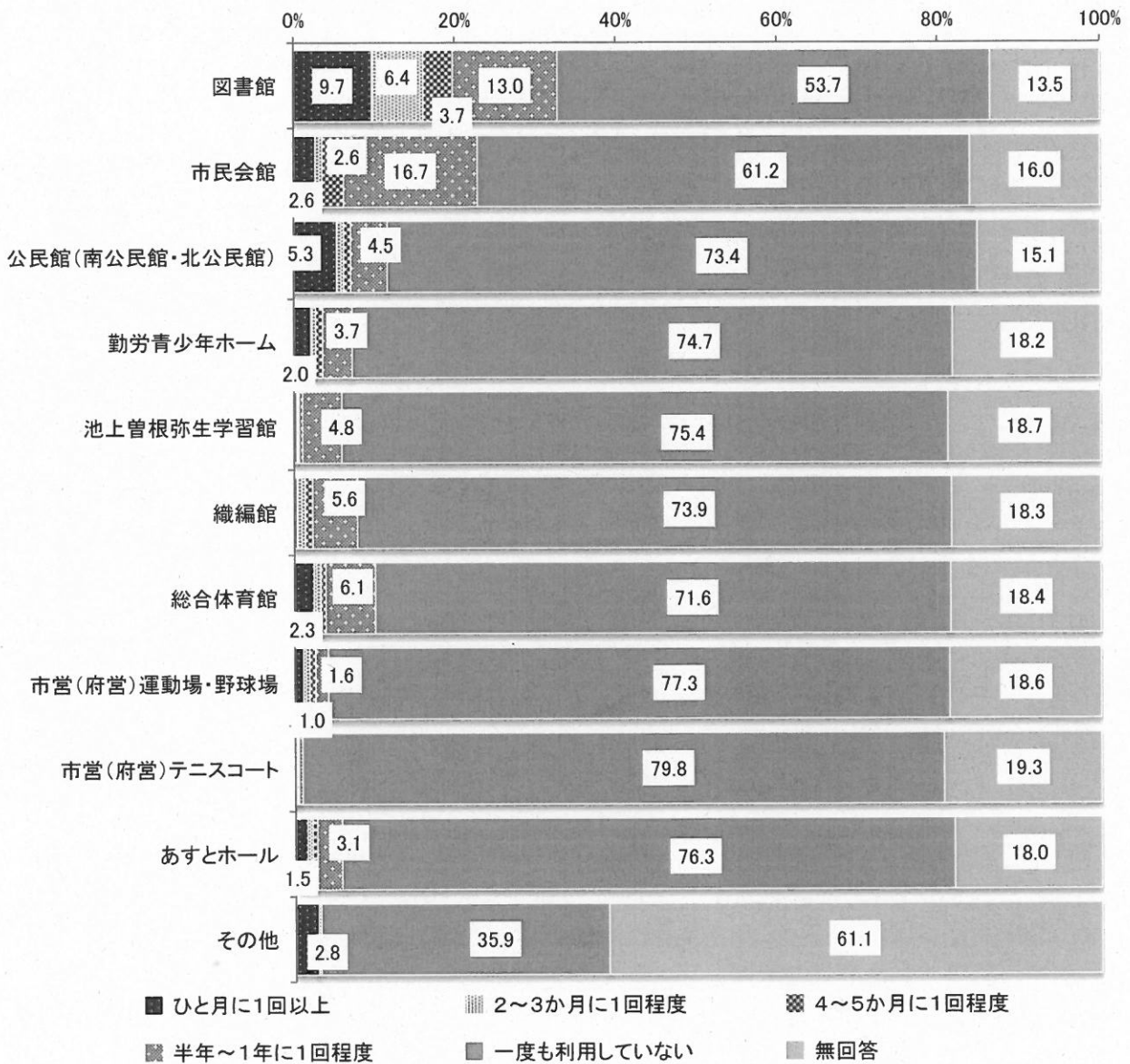
(3) 社会教育施設、学習・文化・スポーツ関連事業などについて

①社会教育施設等の利用経験

問 14 あなたは、この1年ぐらいの間に、次の施設をどの程度利用しましたか。(各項目それぞれひとつに〇)

社会教育施設等の利用経験について聞いたところ、「図書館」、「市民会館」は他の施設に比べ比較的利用が見られますが、その他は「一度も利用していない」という人が多くなっています。

図表 23 社会教育施設等の利用経験 [N=683]

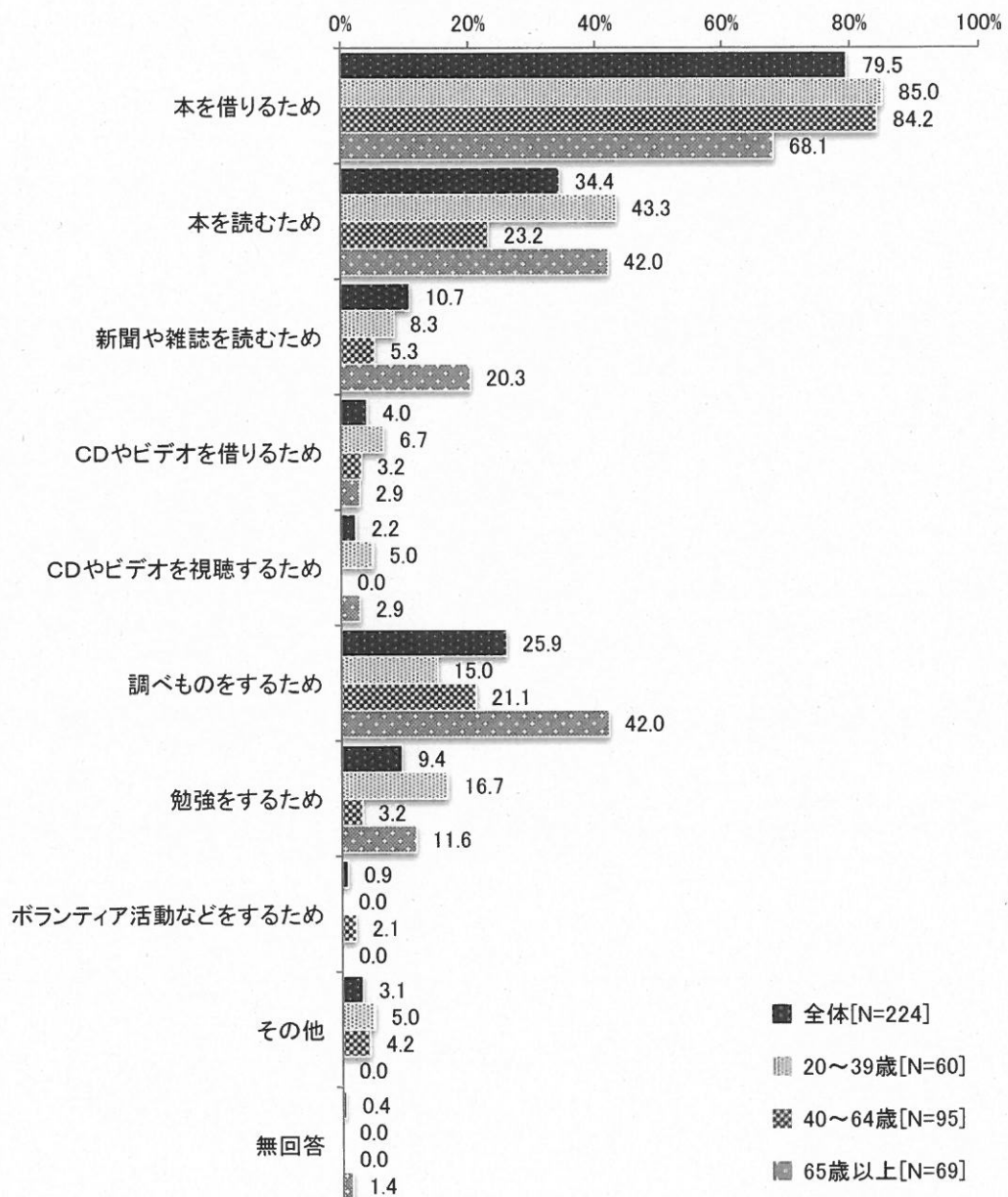


①-1 図書館の利用目的

問 15 前問（問 14）で、「①図書館」を利用している方（1～4 のいずれかに○をつけた方）にお聞きします。どのようなことで図書館を利用されていますか。（あてはまるものすべてに○）

図書館を利用したことのある人に、その利用目的について聞いたところ、「本を借りるため」が 79.5%と多くを占め、次いで、「本を読むため」が 34.4%、「調べものをするため」が 25.9%となっています。年齢別では、65 歳以上で「調べものをするため」という人が他の年齢層と比較して多くなっています。

図表 24 図書館の利用目的 [N=224] 【年齢別】

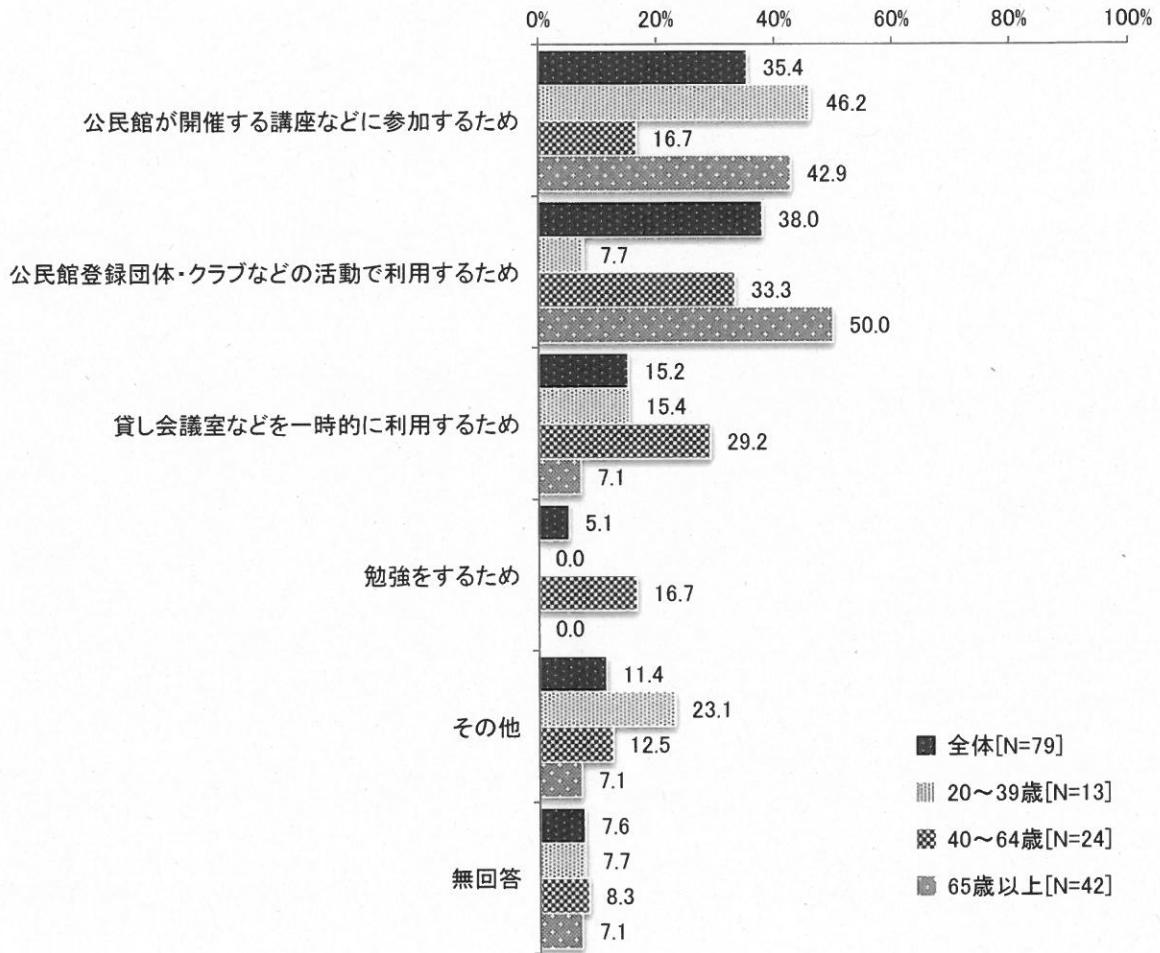


①-2 公民館の利用目的

問 16 前問（問 14）で、「③公民館」を利用している方（1～4 のいずれかに○をつけた方）にお聞きします。どのようなことで公民館を利用されていますか。（あてはまるものすべてに○）

公民館を利用したことのある人に、その利用目的について聞いたところ、「公民館登録団体・クラブなどの活動で利用するため」が 38.0%、「公民館が開催する講座などに参加するため」が 35.4%となっています。

図表 25 公民館の利用目的 [N=79] 【年齢別】



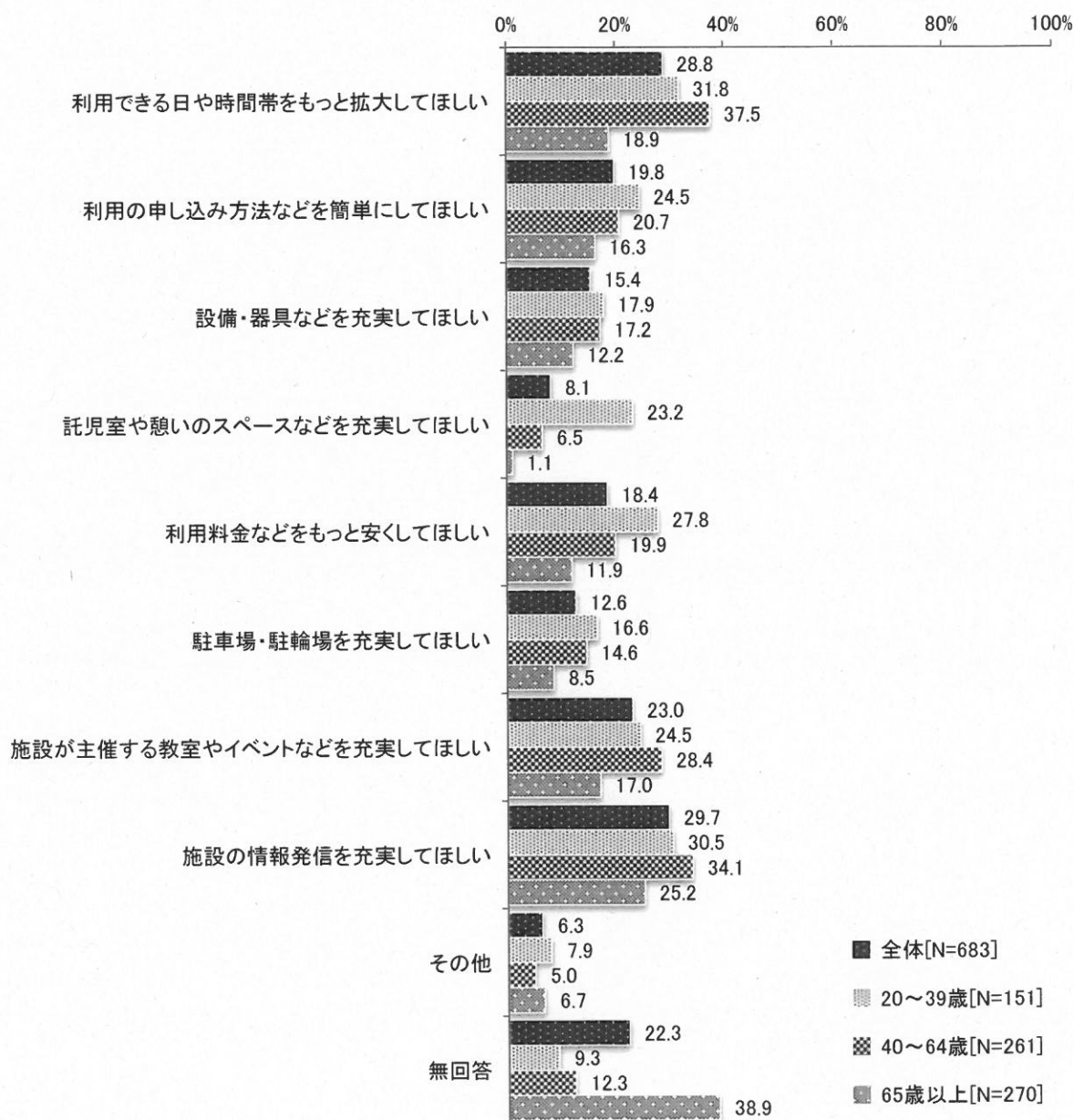
②社会教育・スポーツ施設等に望むこと

問 17 あなたは、市内の社会教育・スポーツ施設などにどのようなことを望みますか。（3つまで選んで○）

社会教育・スポーツ施設等に望むことについて聞いたところ、「施設の情報発信を充実してほしい」が29.7%、「利用できる日や時間帯をもっと拡大してほしい」が28.8%、「施設が主催する教室やイベントなどを充実してほしい」が23.0%となっています。

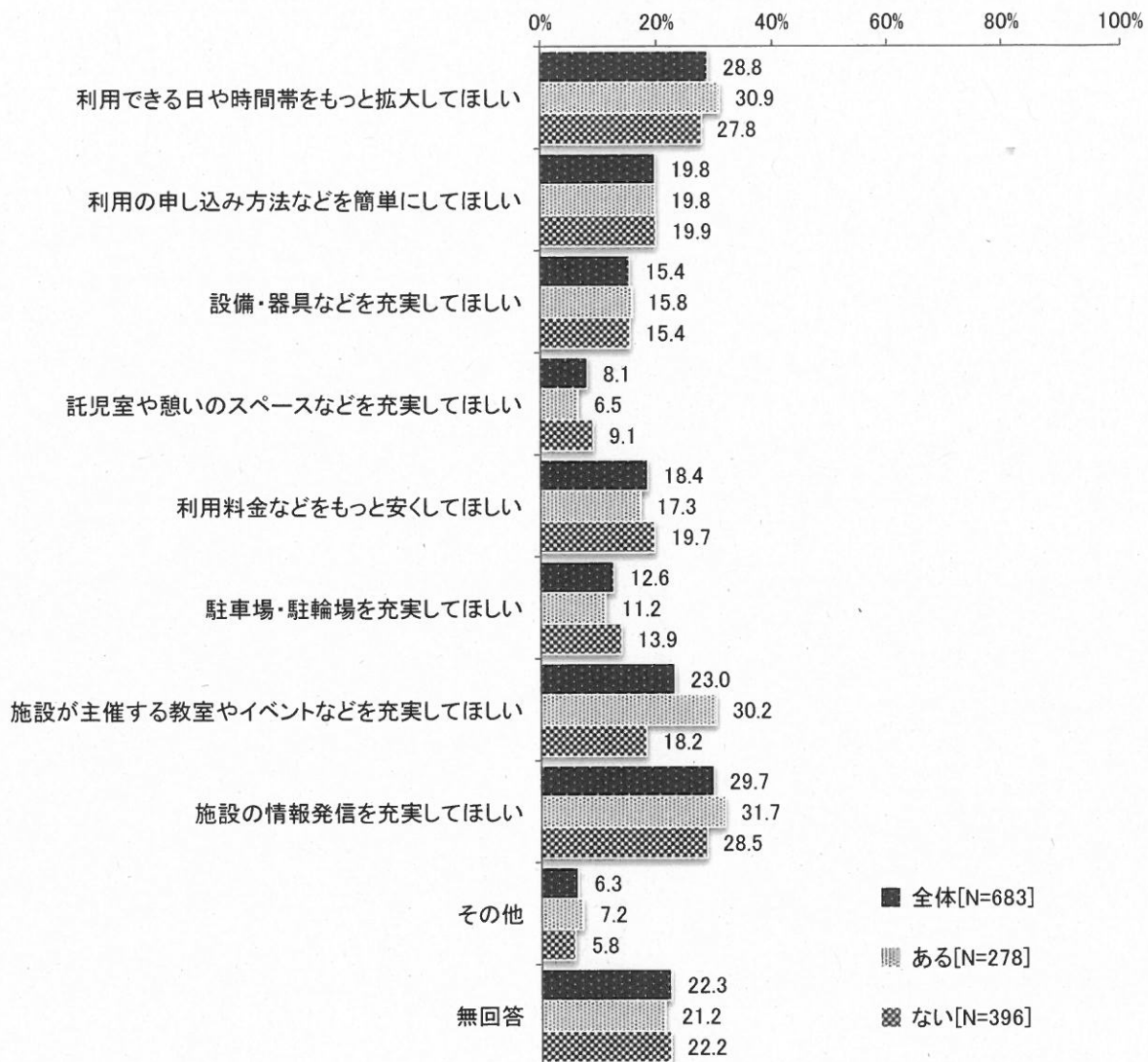
年齢別で見ると、40～64歳の人で、「利用できる日や時間帯をもっと拡大してほしい」という人が比較的多くなっています。また、20～39歳の人で、「利用料金などをもっと安くしてほしい」、「託児室や憩いのスペースなどを充実してほしい」などをあげる人が他の年齢層と比べて多くなっています。

図表 26 社会教育・スポーツ施設等に望むこと [N=683] 【年齢別】



学習活動等の経験の有無別で見ると、経験のある人では、経験のない人に比べて、「施設が主催する教室やイベントなどを充実してほしい」をあげる人が多くなっています。

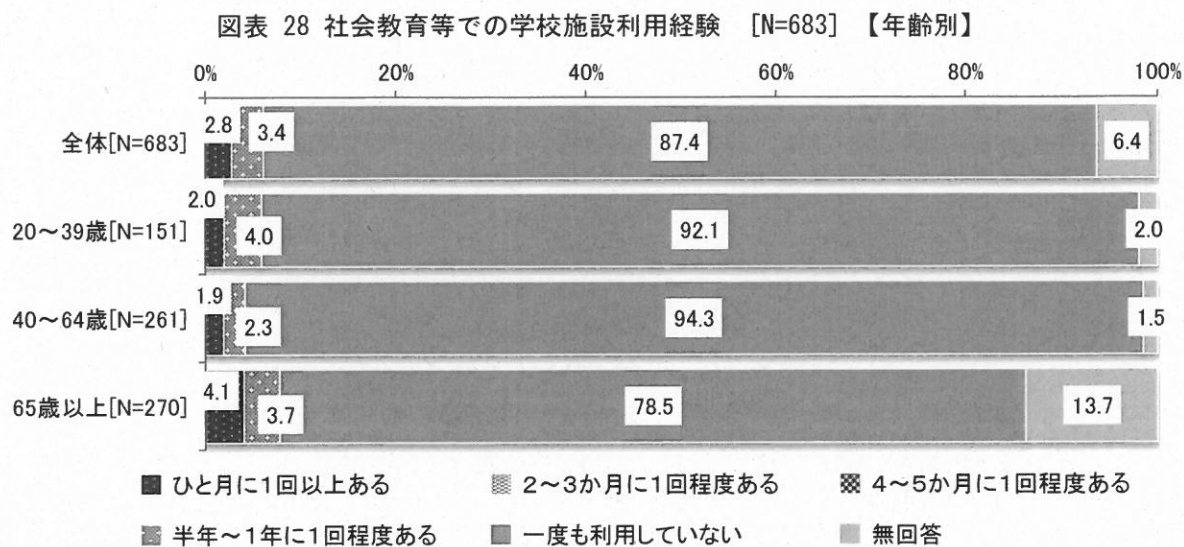
図表 27 社会教育・スポーツ施設等に望むこと [N=683] 【学習等経験有無別】



③社会教育等での学校施設利用経験

問 18 あなたは、この1年ぐらいの間に、自主的な学習活動、文化・芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動などのために、学校の施設を利用したことがありますか。（ひとつに○）

社会教育等での学校施設利用経験については、「一度も利用していない」が87.4%となっています。

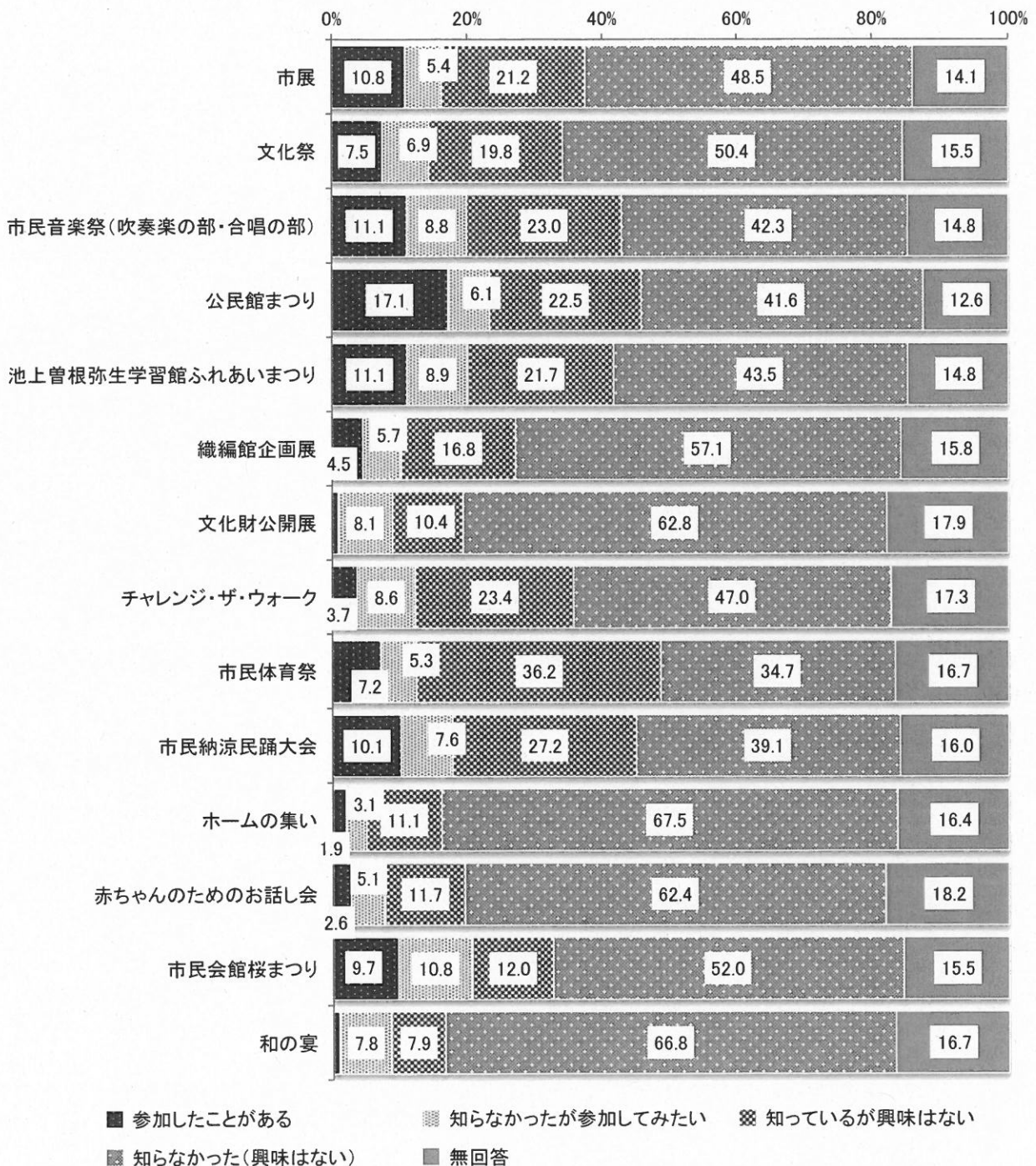


④市の社会教育事業等の認知状況

問 19 あなたは、泉大津市が実施している、次の学習・文化・スポーツに関する事業について、どの程度ご存知ですか。また、参加してみたいと思いますか。（各項目それぞれひとつに○）

市の社会教育事業等の認知状況について聞いたところ、「公民館まつり」、「市民音楽祭」、「池上曽根弥生学習館ふれあいまつり」、「市展」で「参加したことがある」が1～2割となっています。

図表 29 市の教育事業等の認知状況 [N=683]



(4) 子どもの教育に関する学校・家庭・地域の役割について

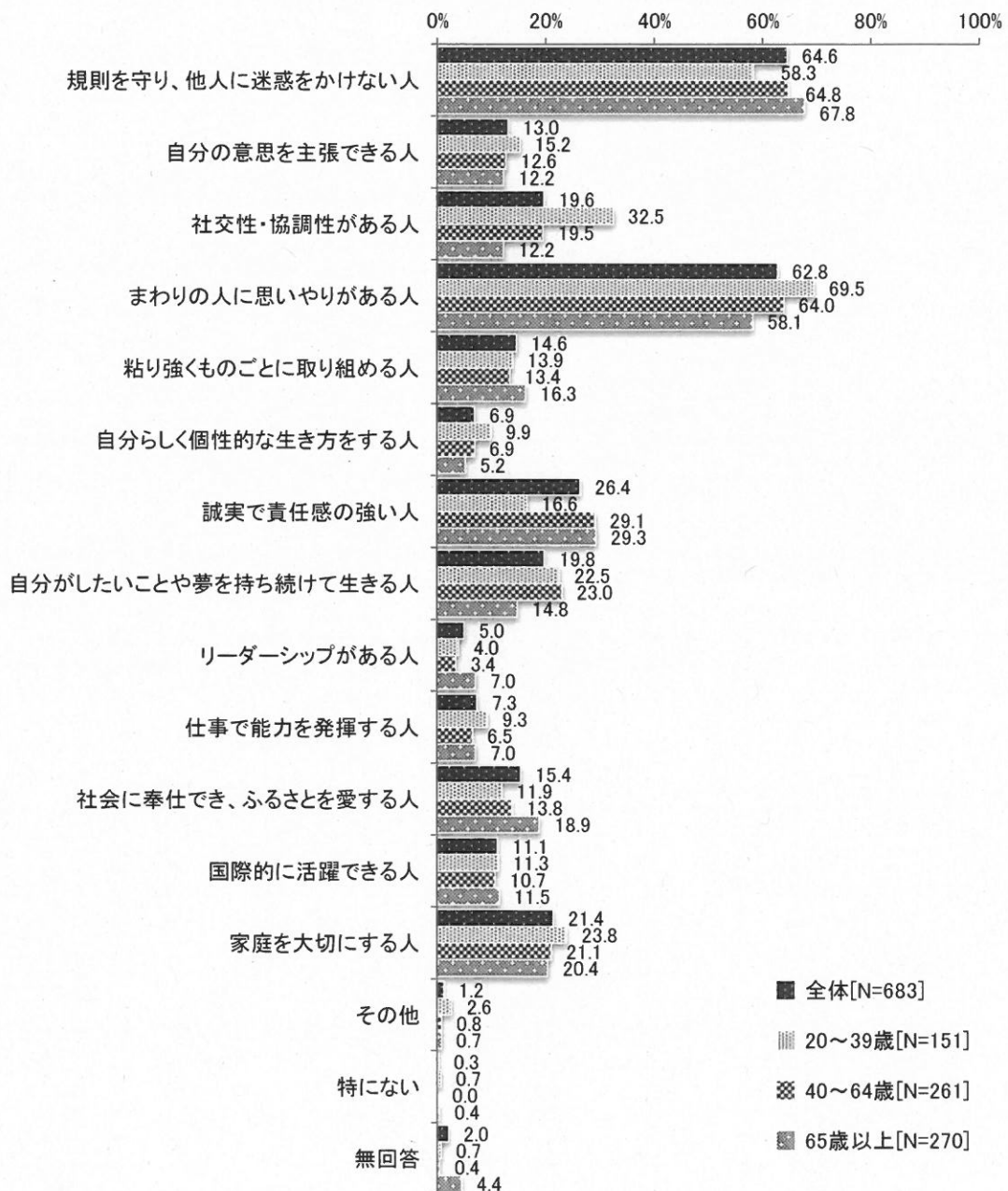
①子どもに将来なってほしい姿

問 20 あなたは、泉大津市の子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか。
(3つまで選んで○)

子どもに将来なってほしい姿について聞いたところ、「規則を守り、他人に迷惑をかけない人」が64.6%、「まわりの人に思いやりがある人」が62.8%となっており、この2つをあげる人が多くなっています。

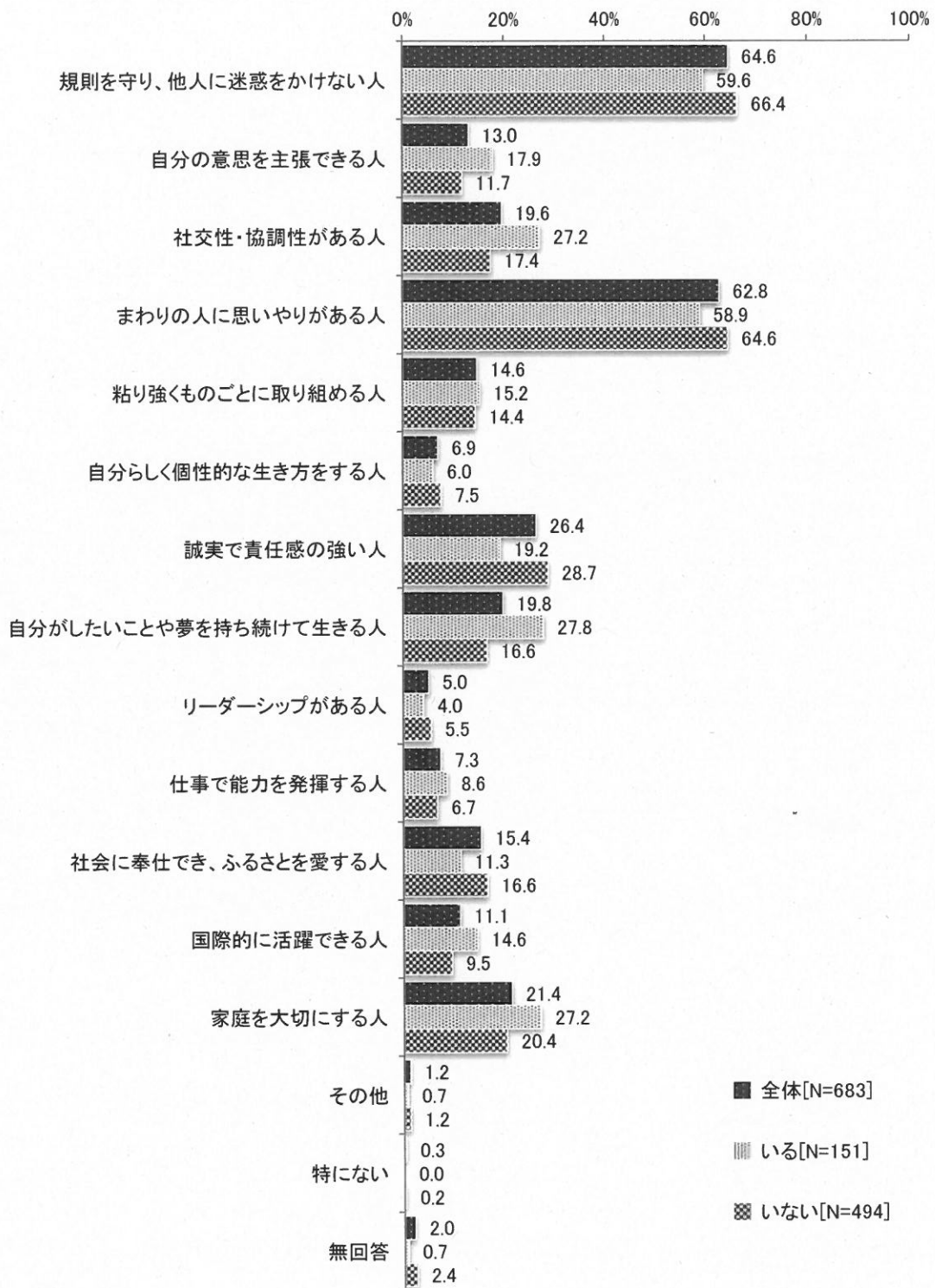
年齢別では、他の年齢層に比べ、20～39歳の人で「社交性・協調性がある人」、「まわりの人に思いやりがある人」などをあげる人が多くなっています。

図表 30 子どもに将来なってほしい姿 [N=683] 【年齢別】



世帯で子どもと同居しているかどうかでみると、子どもの同居者がいる人では、いない人に比べ、「社交性・協調性のある人」、「自分がしたいことや夢を持ち続けて生きる人」、「家庭を大切に
する人」などをあげる人が多くなっています。

図表 31 子どもに将来なってほしい姿 [N=683] 【子ども同居有無別】



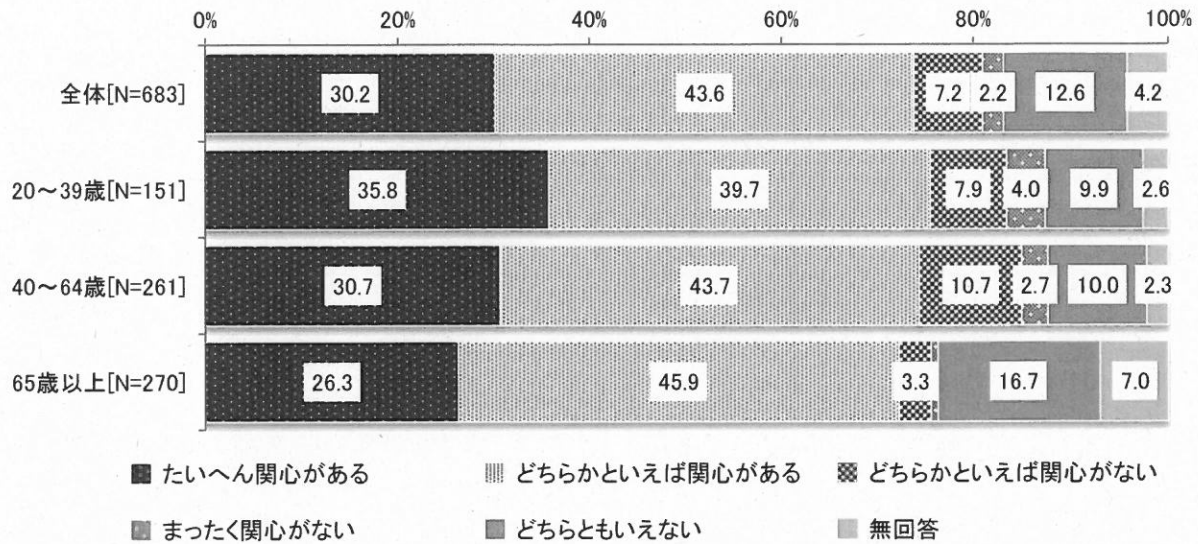
②子どもの教育への関心

問 21 あなたは、子どもたちへの教育に対して関心がありますか。(ひとつに〇)

子どもの教育への関心について聞いたところ、「どちらかといえば関心がある」が43.6%、「たいへん関心がある」が30.2%となっており、多くの人に関心を持っています。

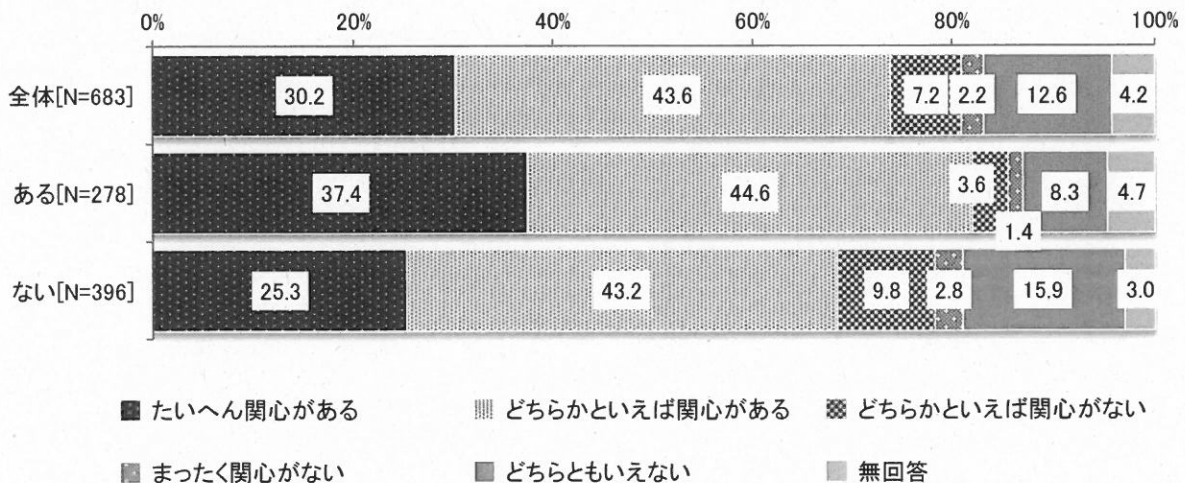
年齢別で見ると、20～39歳の人で、「たいへん関心がある」という人が多くなっています。

図表 32 子どもの教育への関心 [N=683] 【年齢別】



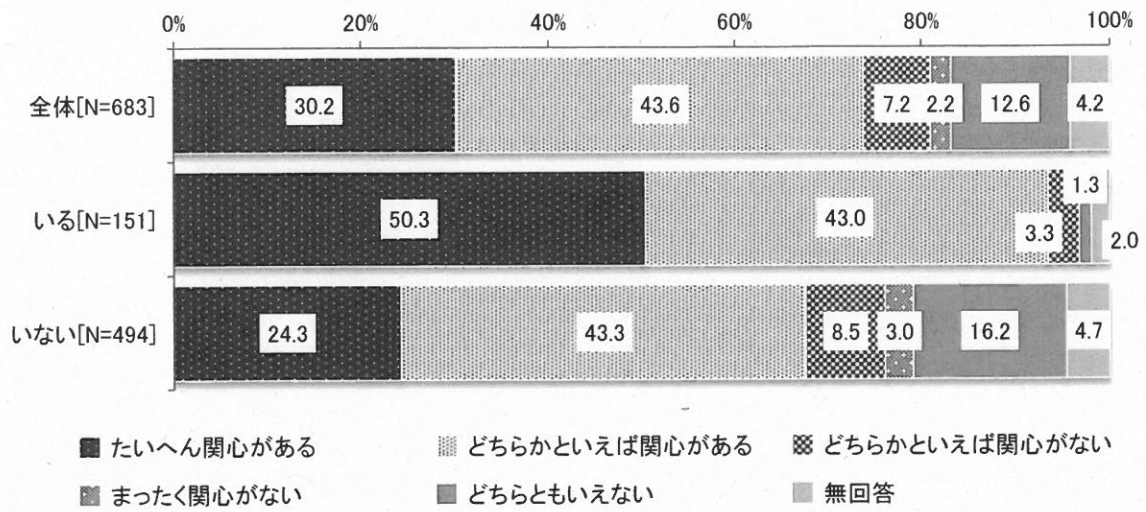
学習活動等の経験の有無別で見ると、経験のある人で「たいへん関心がある」という人が多くなっています。

図表 33 子どもの教育への関心 [N=683] 【学習等経験有無別】



世帯で子どもと同居しているかどうかでみると、子どもの同居者がいる人で「たいへん関心がある」という人が多くなっています。

図表 34 子どもの教育への関心 [N=683] 【子ども同居有無別】

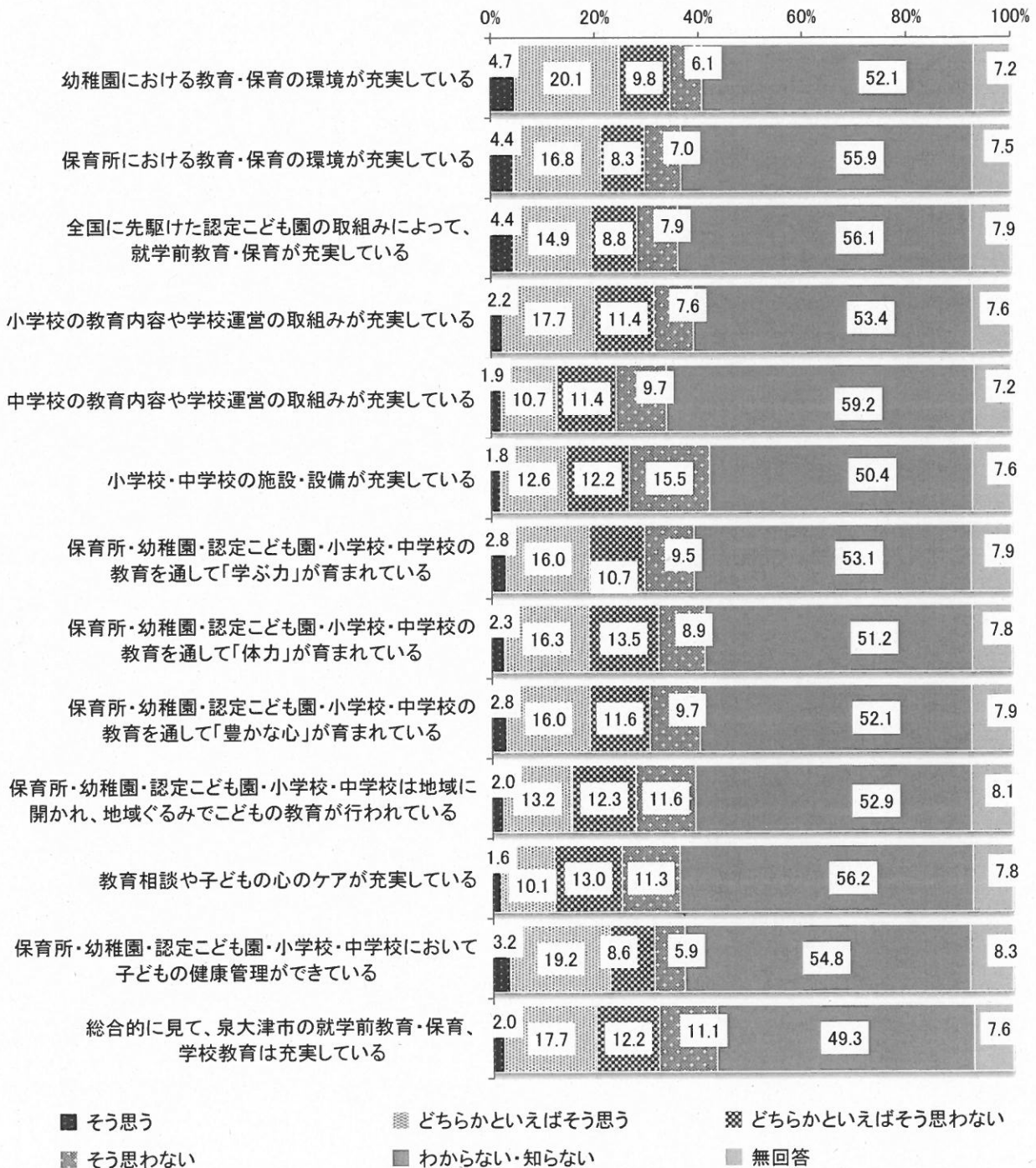


③市の教育についての感想

問 22 泉大津市の就学前教育・保育、学校教育における現在の取組みについて、あなたはどのように感じますか。（各項目それぞれひとつに○）

市の教育について、各側面に関してどのように感じているかを聞いたところ、いずれも「わからない・知らない」という人が多くなっています。総合評価に関しては、肯定・否定いずれも2割程度で、わからないという人が半数となっています。

図表 35 市の教育についての感想 [N=683]



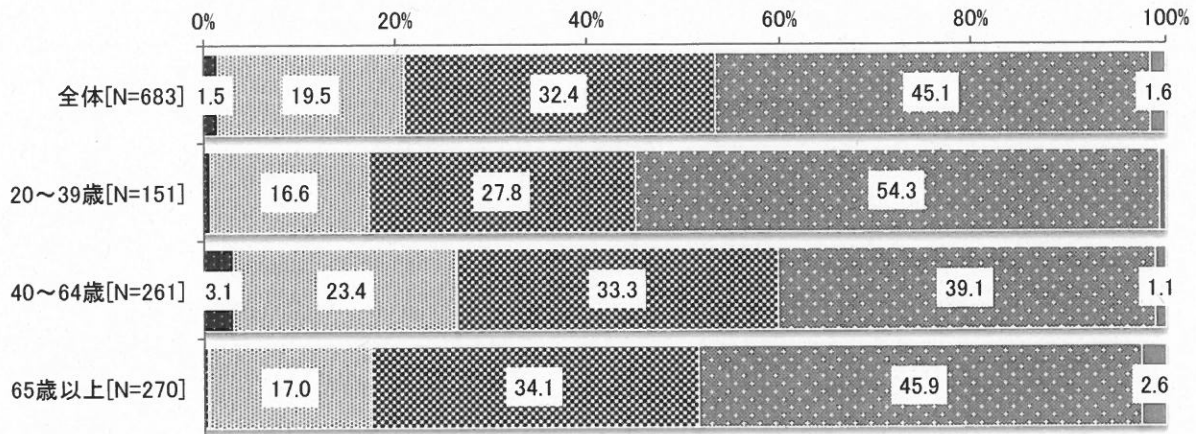
④地域の小学校運営の認知状況

問 23 あなたがお住まいの地域の小学校についてお聞きします。あなたは、地域の小学校の運営や子どもの活動についてどの程度ご存知ですか。（ひとつに〇）

地域の小学校運営についてどの程度知っているかを聞いたところ、「まったく知らない」が45.1%、「あまり知らない」が32.4%となっており、知らない人が多くなっています。

年齢別では、40～64歳の人で、「ある程度は知っている」という人が他の年齢層と比較して多くなっています。

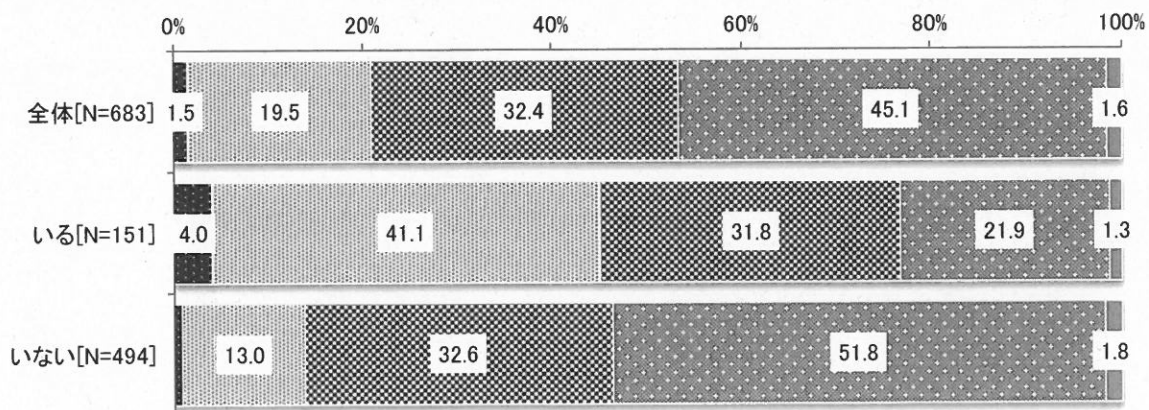
図表 36 地域の小学校運営の認知状況 [N=683] 【年齢別】



■ よく知っている ■ ある程度は知っている ■ あまり知らない ■ まったく知らない ■ 無回答

世帯で子どもと同居しているかどうかでみると、子どもと同居している人で、「ある程度は知っている」という人が多くなっています。

図表 37 地域の小学校運営の認知状況 [N=683] 【子ども同居有無別】



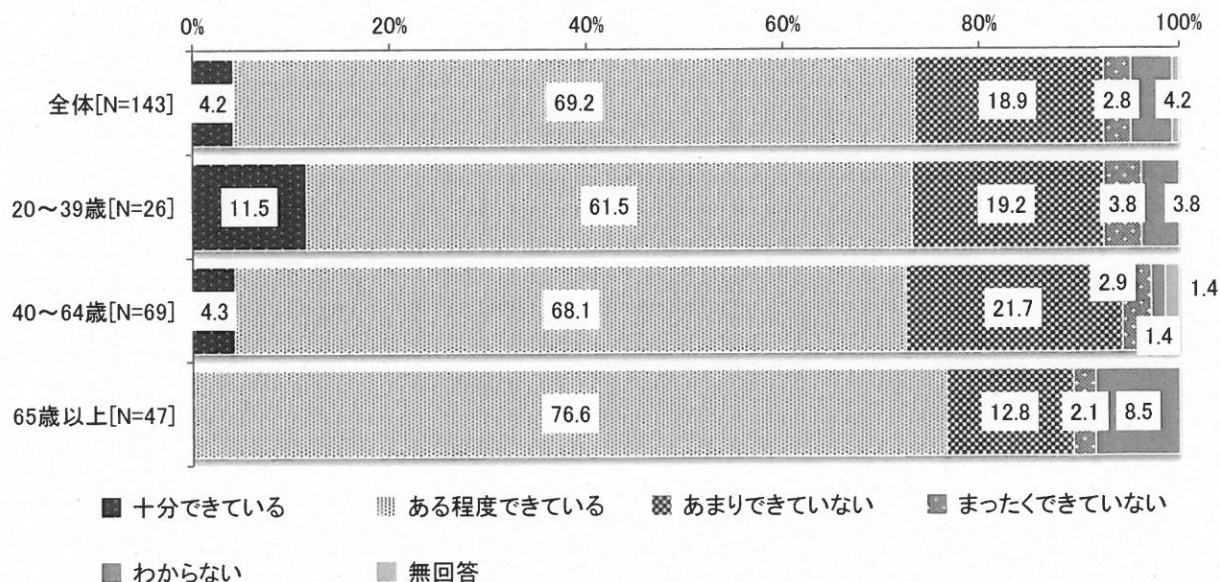
■ よく知っている ■ ある程度は知っている ■ あまり知らない ■ まったく知らない ■ 無回答

④-1 小学校運営についての学校・保護者・地域の連携

問 24 前問（問 23）で、「よく知っている」「ある程度は知っている」とお答えの方にお聞きします。あなたは、学校の運営に関して、学校と保護者、地域の連携ができていますか。（ひとつに〇）

小学校運営について「よく知っている」、「ある程度は知っている」と回答した人に、運営における学校・保護者・地域の連携について聞いたところ、「ある程度できています」が 69.2%となっており、小学校運営について知っている人では連携を評価する人が多くなっています。

図表 38 小学校運営についての学校・保護者・地域の連携 [N=143] 【年齢別】

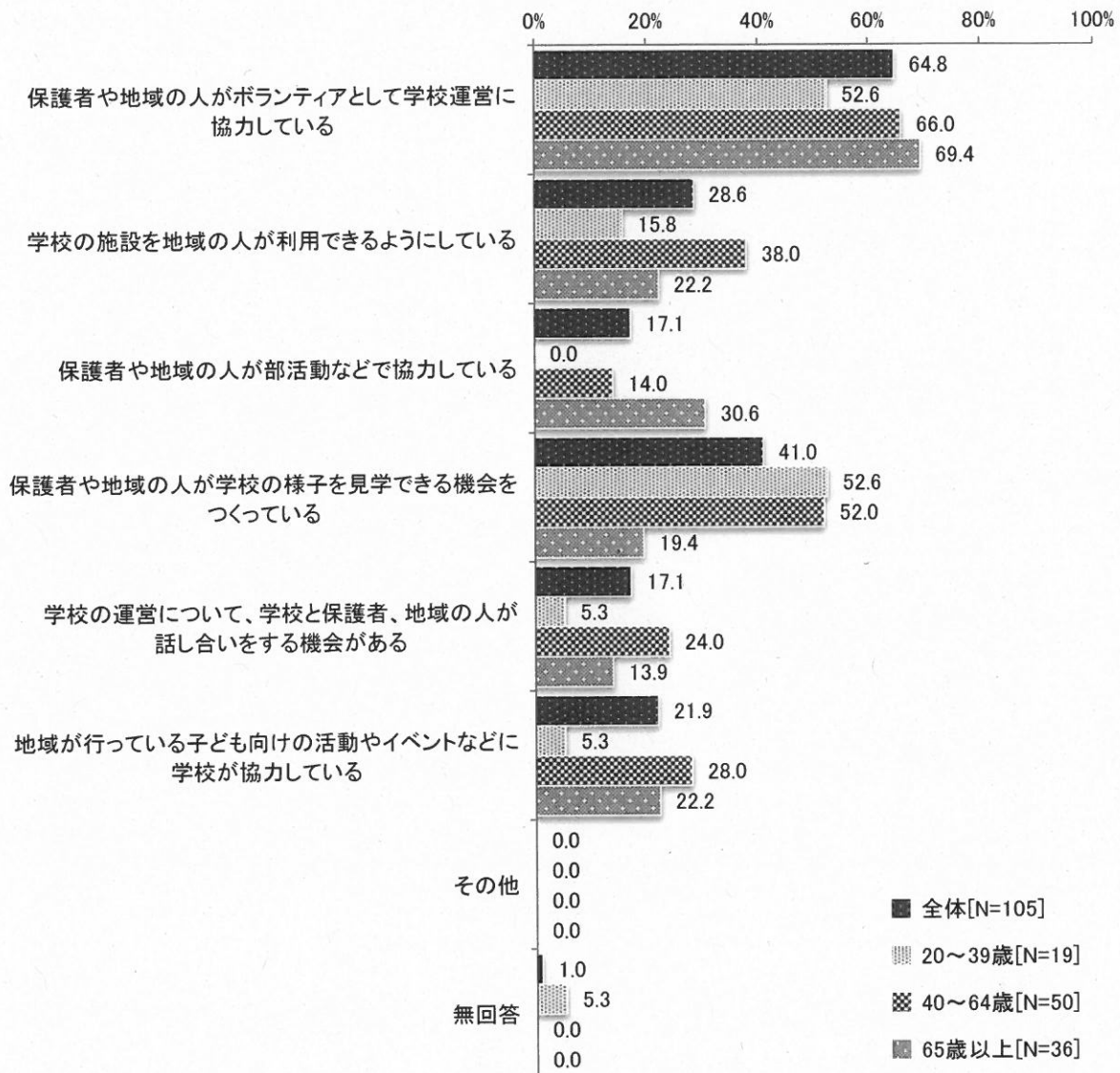


④-2 特に連携できていること

問 25 前問（問 24）で、「十分できている」「ある程度できている」とお答えの方にお聞きします。特にどこが連携できていると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

連携ができていると回答した人に、特に連携できていることについて聞いたところ、「保護者や地域の方がボランティアとして学校運営に協力している」が 64.8%、「保護者や地域の方が学校の様子を見学できる機会をつくっている」が 41.0%となっています。

図表 39 特に連携できていること [N=105] 【年齢別】

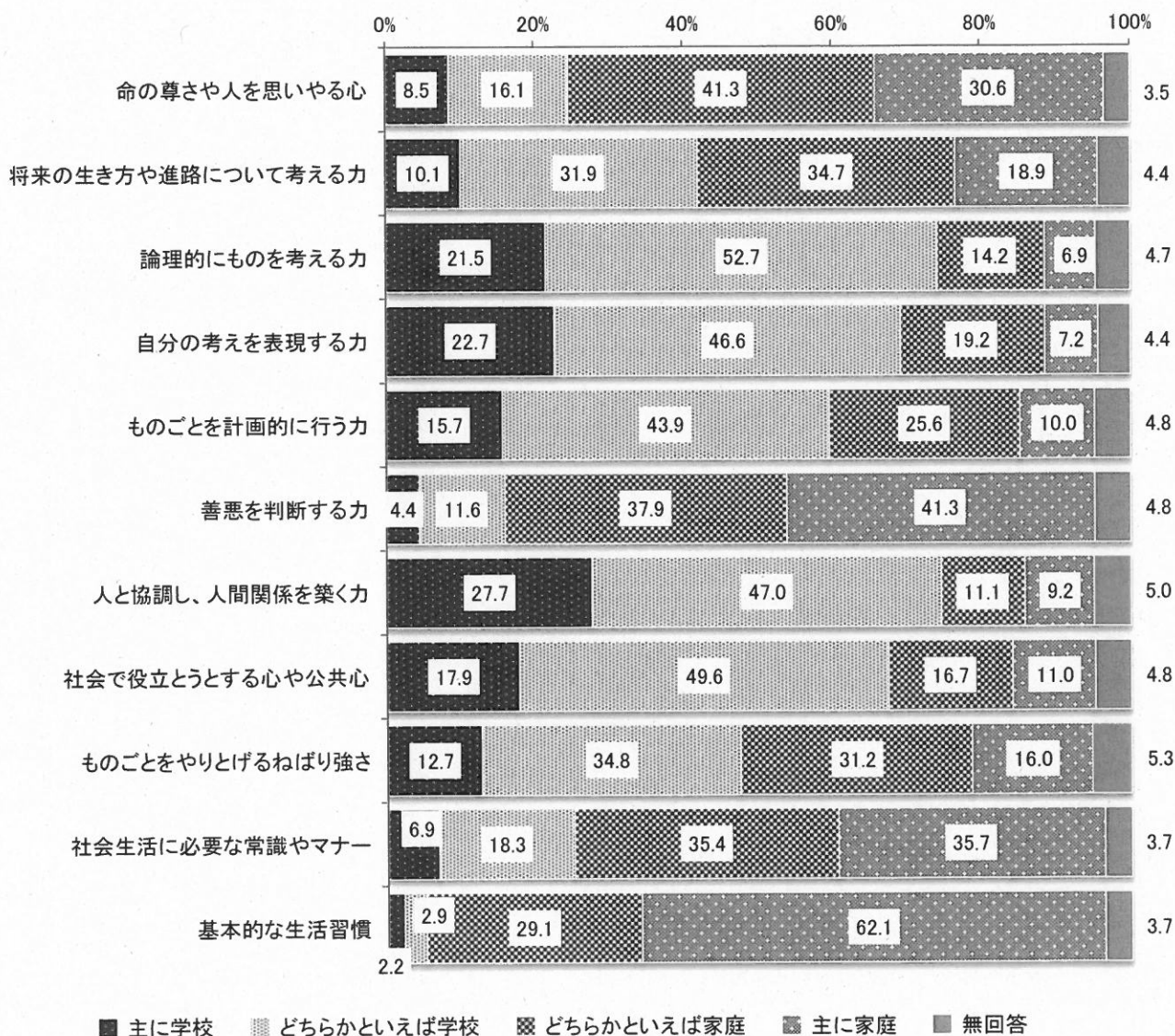


⑤学校・家庭で学ぶべきこと

問 26 あなたは、子どもが次のような力や態度を身につけるためには、主に学校で学ぶべきと思いますか、家庭で身につけるべきと思いますか。（各項目それぞれひとつに○）

学校・家庭で学ぶべき項目について聞いたところ、「人と協調し、人間関係を築く力」、「論理的にものを考える力」、「自分の考えを表現する力」、「社会で役立とうとする心や公共心」は学校をあげる人が多くなっています。また、「基本的な生活習慣」、「善悪を判断する力」、「命の尊さや人を思いやる心」、「社会生活に必要な常識やマナー」は家庭をあげる人が多くなっています。

図表 40 学校・家庭で学ぶべきこと [N=683]

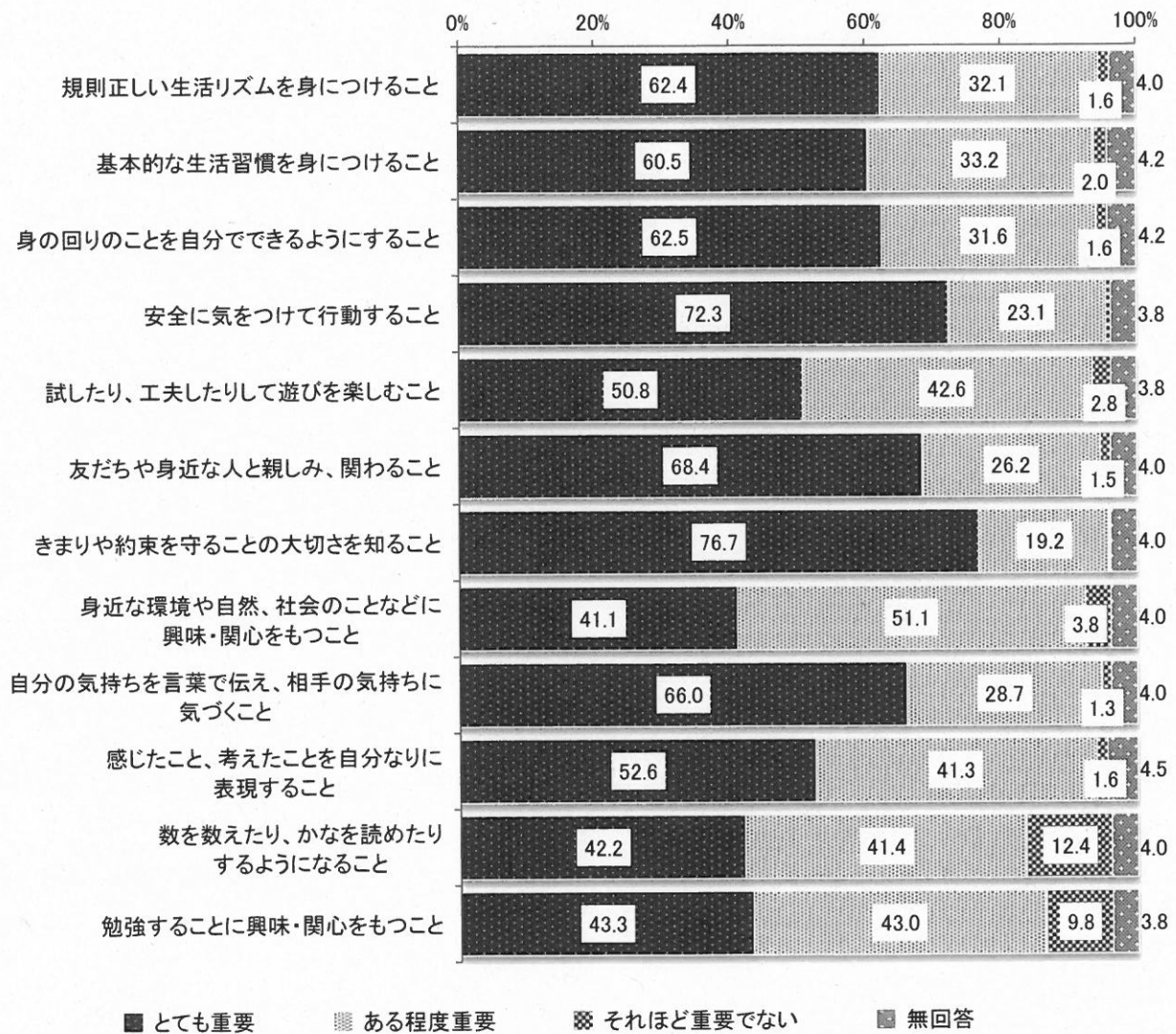


⑥就学前教育・保育で重要と思うこと

問 27 あなたは、保育所・幼稚園・認定こども園の教育・保育の中で、次のようなことは重要だと思いますか。（各項目それぞれひとつに○）

就学前教育・保育における各側面で、重要と思うことについて聞いたところ、いずれも重要と考える人が多くなっています。特に「きまりや約束を守ることの大切さを知ること」、「安全に気をつけて行動すること」は「とても重要」という人が多くなっています。

図表 41 就学前教育・保育で重要と思うこと [N=683]

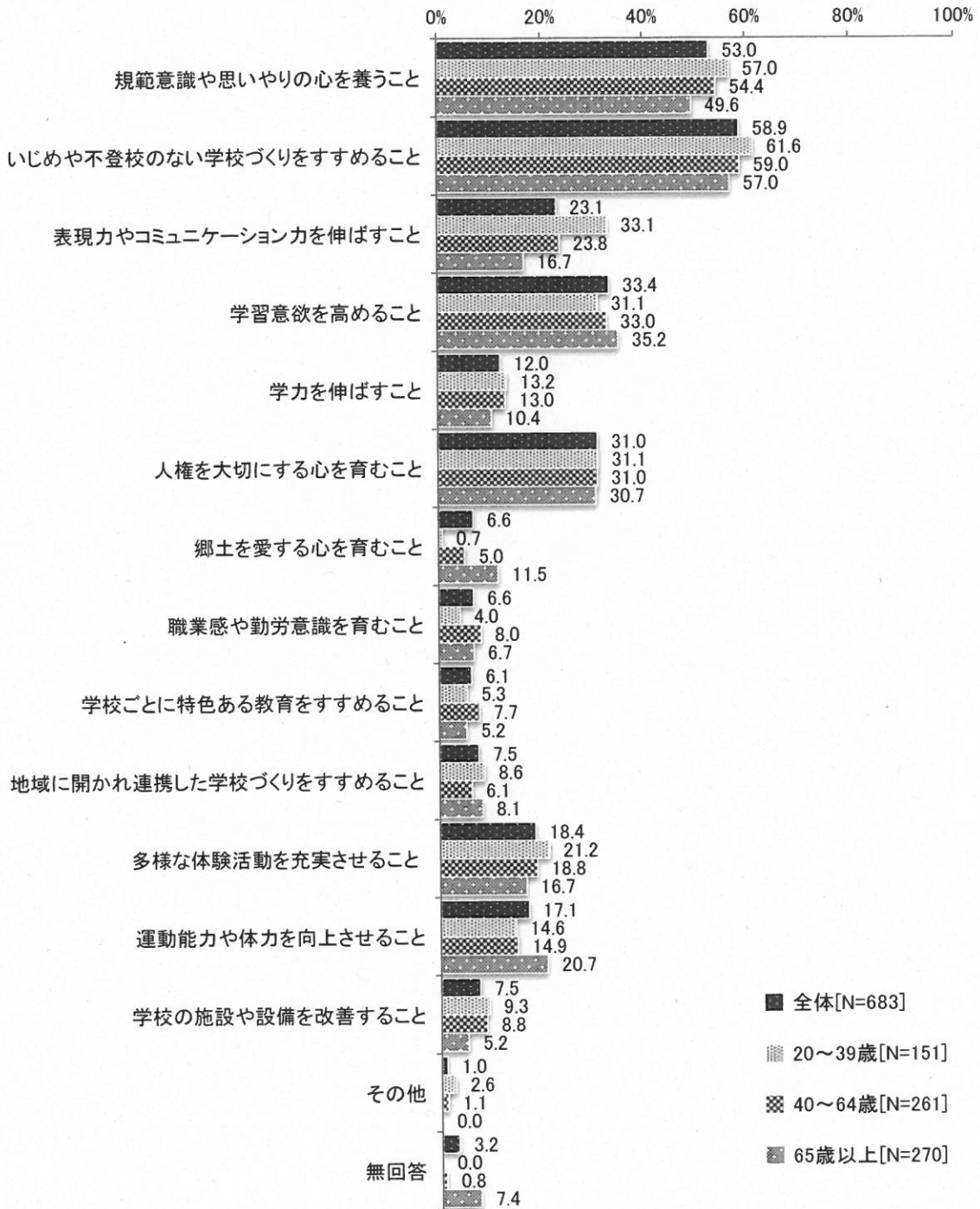


⑦これからの教育で大切と思うこと

問 28 あなたは、これからの泉大津市の小・中学校の教育について、特にどんなことが重要だと思いますか。（3つまで選んで○）

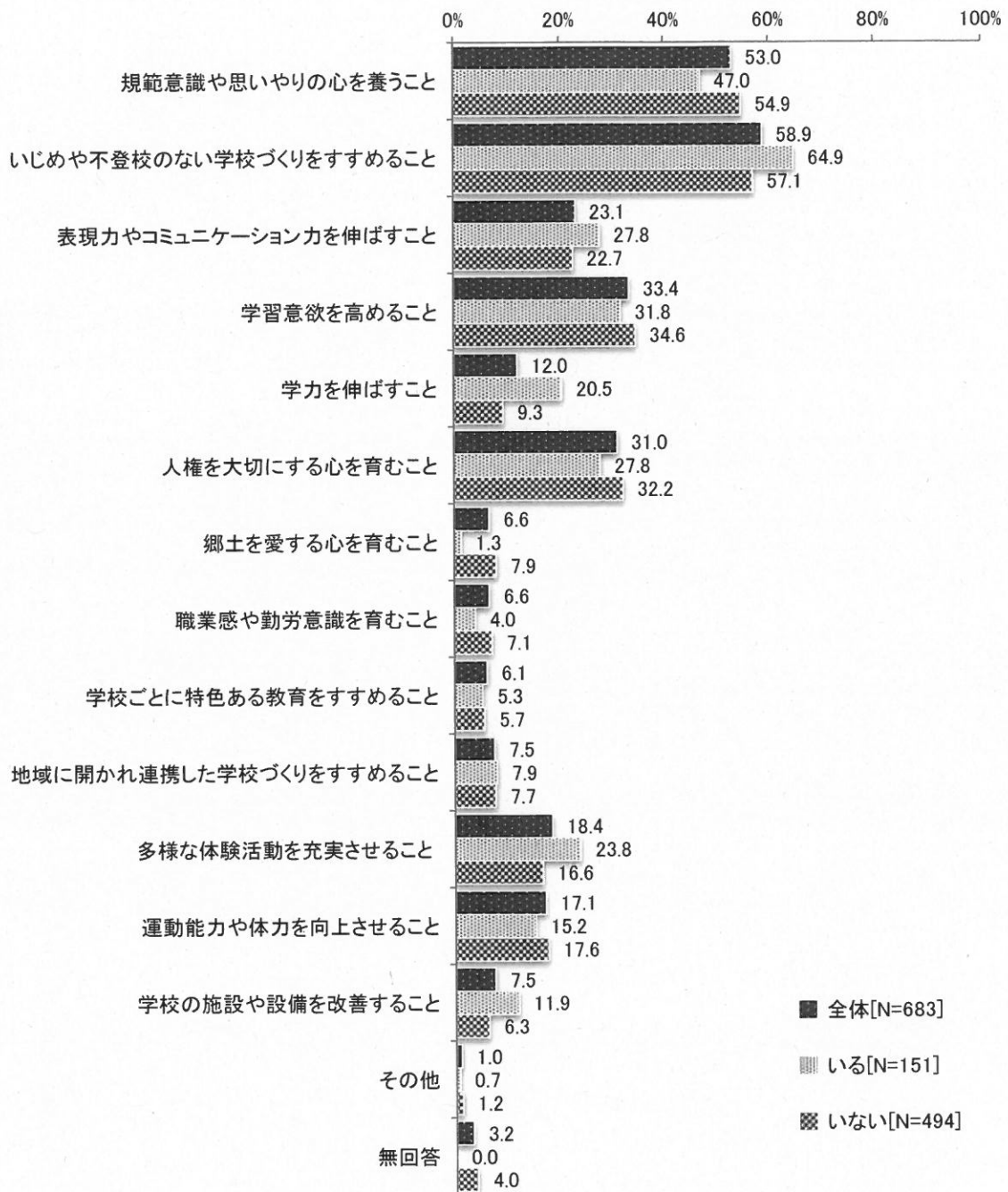
これからの教育で大切と思うことについて聞いたところ、「いじめや不登校のない学校づくりをすすめること」が58.9%、「規範意識や思いやりの心を養うこと」が53.0%となっており、半数以上の人があげています。その他、「学習意欲を高めること」が33.4%、「人権を大切にする心を育むこと」が31.0%となっています。

図表 42 これからの教育で大切と思うこと [N=683] 【年齢別】



世帯で子どもと同居しているかどうかでみると、子どもの同居者がいる人では、「いじめや不登校のない学校づくりをすすめること」をあげる人が多くなっています。子どもの同居者がいない人では、「規範意識や思いやりの心を養うこと」をあげる人が、子どもの同居者がいる人と比べて多くなっています。

図表 43 これからの教育で大切と思うこと [N=683] 【子ども同居有無別】



⑧市の取組みの必要性についての感想

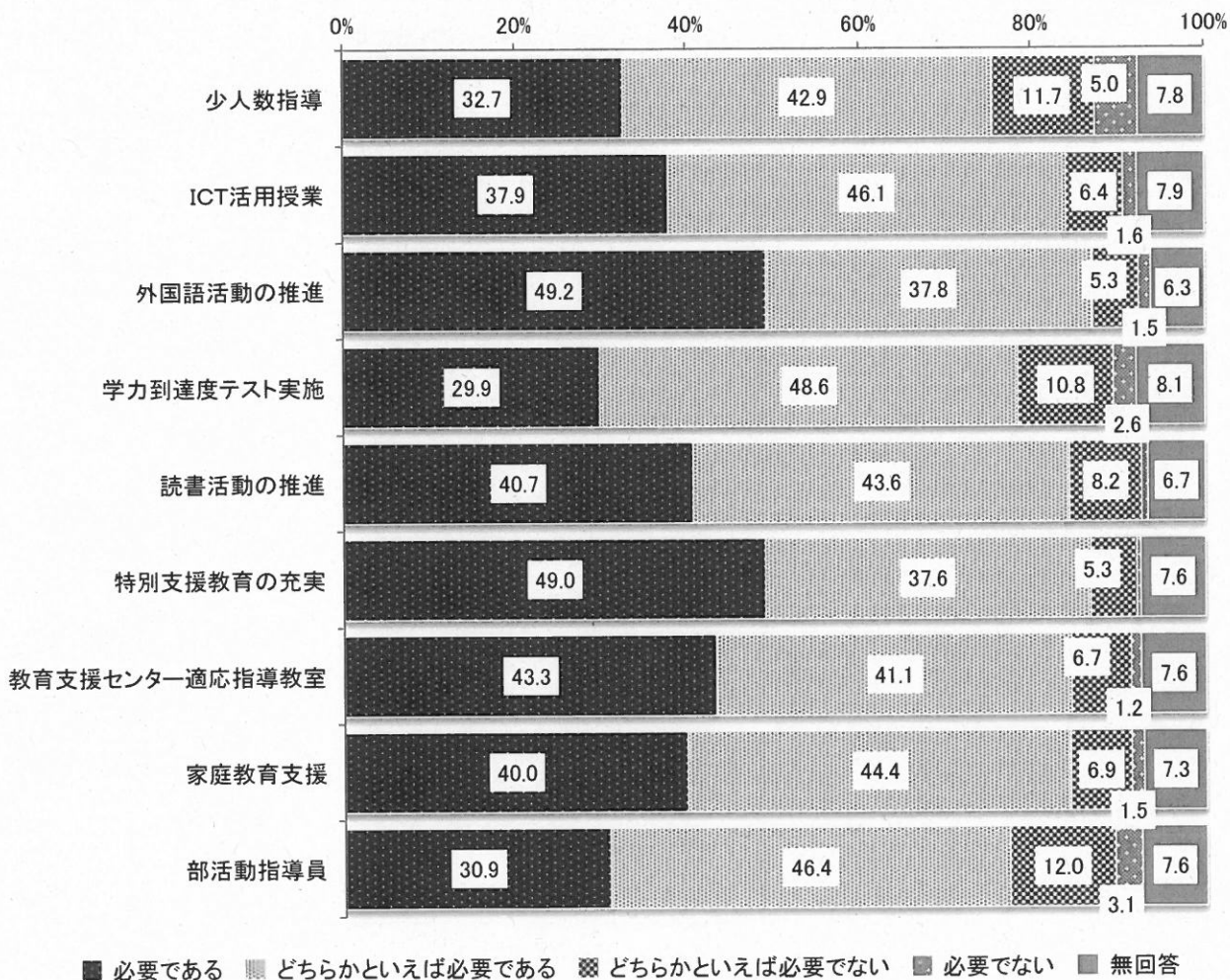
問 29 泉大津市では、教育の充実に関し、次のような様々な取組みを行っています。

(1) あなたは、これらの取組みの必要性について、どのように思いますか。

(各項目それぞれひとつに○)

学校教育に関する市の各種取組みについて、その必要性を聞いたところ、いずれの取組みも「必要である」と「どちらかといえば必要である」を合わせた回答が7割以上となっています。中でも「必要である」という回答は、「外国語活動の推進」が49.2%、「特別支援教育の充実」が49.0%、「教育支援センター適応指導教室」が43.3%、「読書活動の推進」が40.7%、「家庭教育支援」が40.0%と多くなっています。

図表 44 市の取組みの必要性についての感想 [N=683]



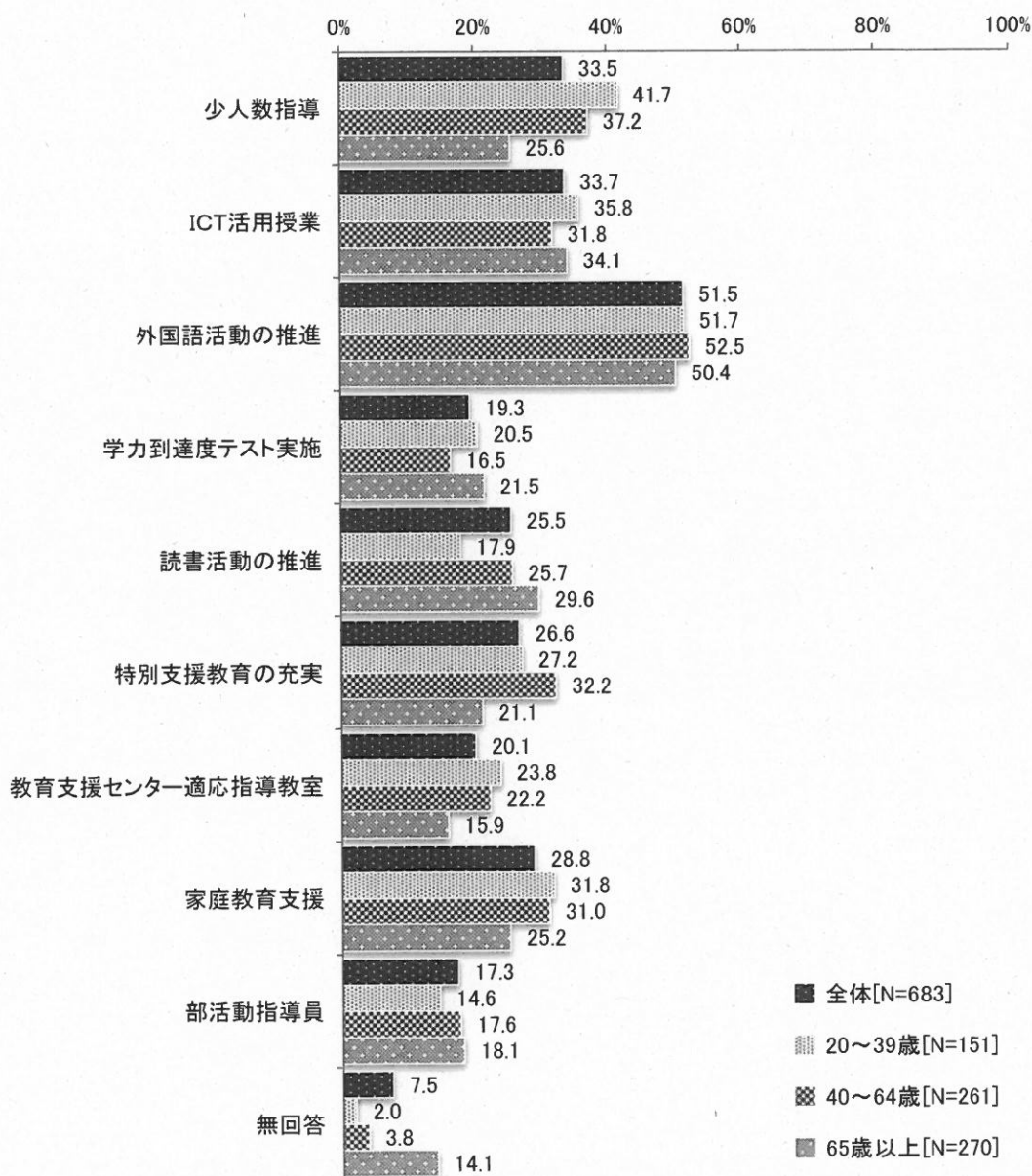
⑧-1 市の取組みで力を入れる必要があると思うもの

(2) あなたは、これらの取組みについて、特にどの取組みに力を入れる必要があると思いますか。
(3つまで選んで○)

市の取組みの中でも特に力を入れる必要があると思うものについては、「外国語活動の推進」が51.5%、「ICT活用授業」が33.7%、「少人数指導」が33.5%となっています。

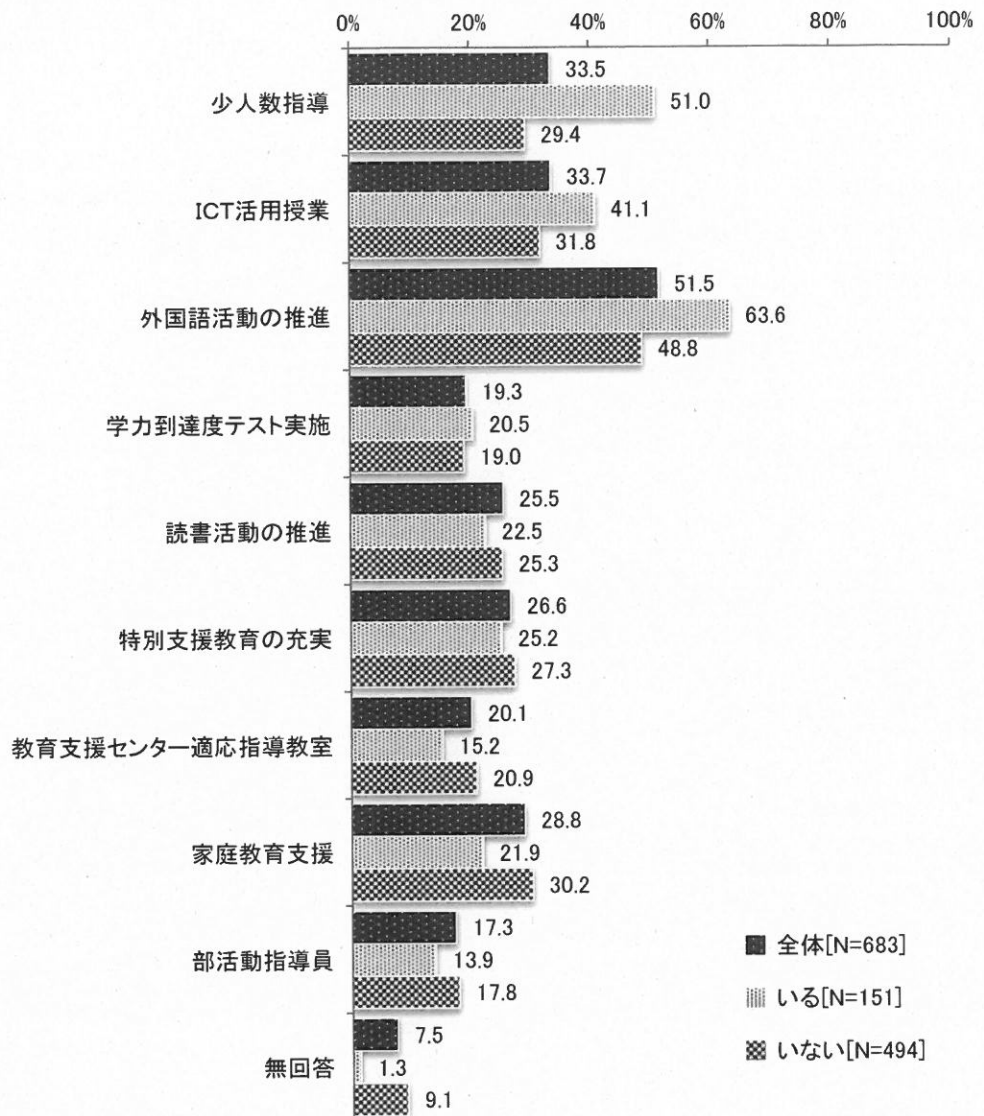
年齢別でみると、20～39歳の人で、「少人数指導」をあげる人が他の年齢層と比べて多くなっています。また、40～64歳の人では「特別支援教育の充実」、65歳以上の人では「読書活動の推進」をあげる人が他の年齢層と比べて多くなっています。

図表 45 市の取組みで力を入れる必要があると思うもの [N=683] 【年齢別】



世帯で子どもと同居しているかどうかでみると、子どもの同居者がいる人では、「外国語活動の推進」、「少人数指導」をあげる人が多くなっています。

図表 46 市の取組みで力を入れる必要があると思うもの [N=683] 【子ども同居有無別】

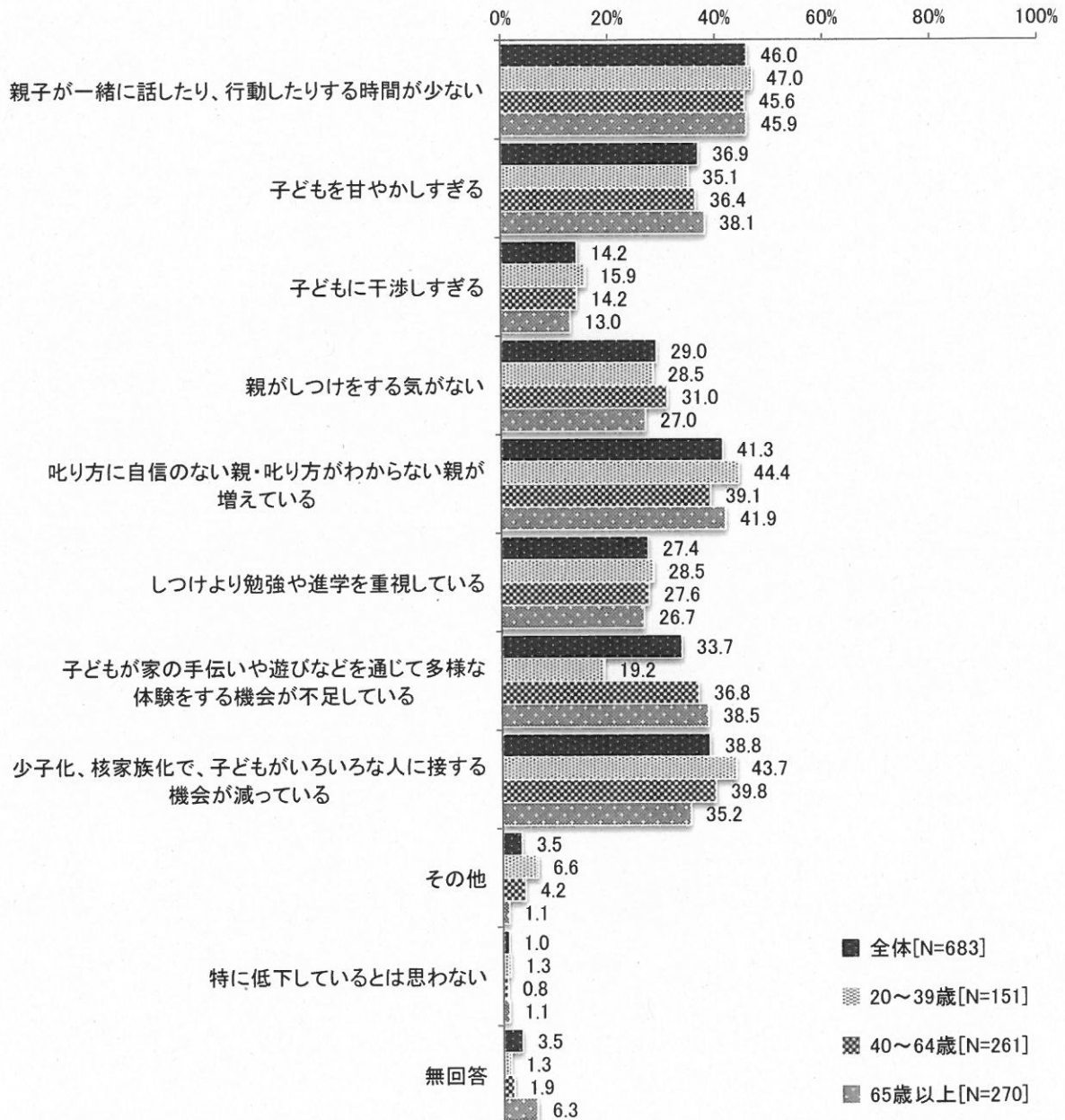


⑨家庭の教育力低下の原因

問 30 家庭のしつけ・教育力が一般的に低下していると言われていますが、あなたは、何に原因があると思いますか。（3つまで選んで○）

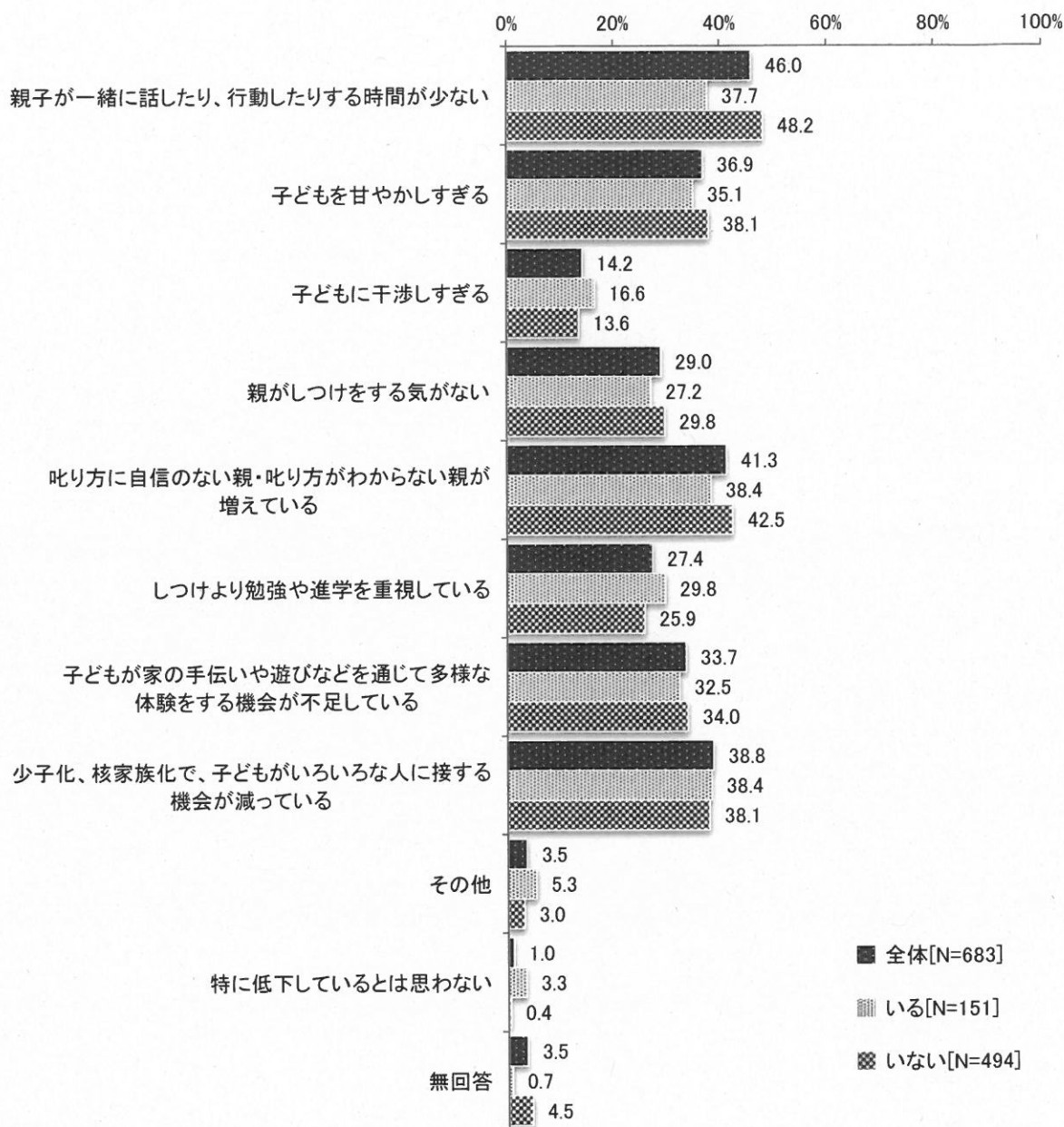
家庭の教育力が低下している原因について聞いたところ、「親子が一緒に話したり、行動したりする時間が少ない」が46.0%と最も多く、次いで、「叱り方に自信のない親・叱り方がわからない親が増えている」が41.3%、「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」が38.8%、「子どもを甘やかすすぎる」が36.9%となっています。

図表 47 家庭の教育力低下の原因 [N=683] 【年齢別】



世帯で子どもと同居しているかどうかでみると、子どもの同居者のいない人で、「親子が一緒に話したり、行動したりする時間が少ない」をあげる人が多くなっています。

図表 48 家庭の教育力低下の原因 [N=683] 【子ども同居有無別】

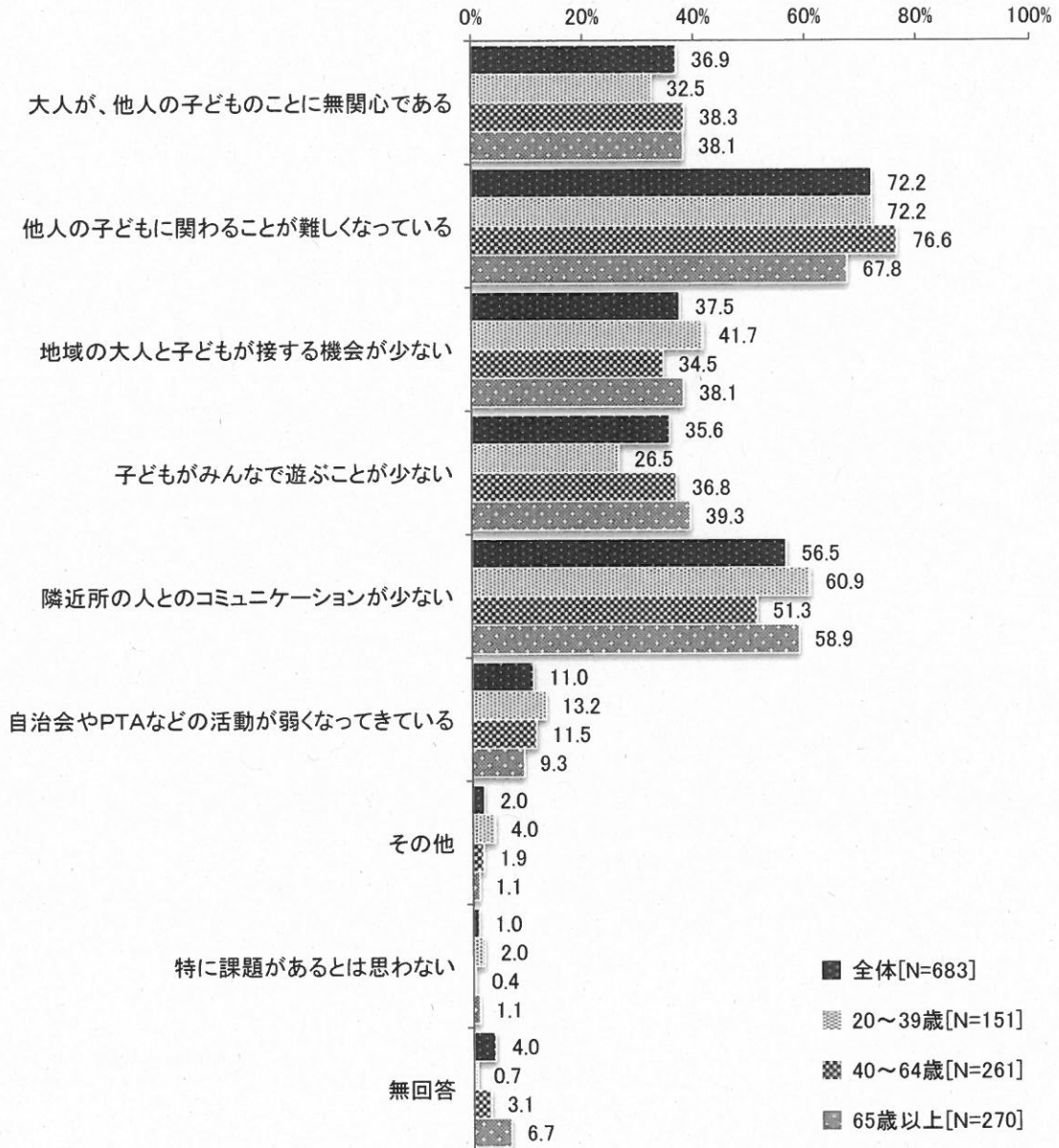


⑩子どもの教育に関する地域の課題

問 31 地域には、子どもの教育に関して、どのような課題があると思いますか。（3つまで選んで○）

子どもの教育に関する地域の課題については、「他人の子どもに関わることが難しくなっている」が72.2%、「隣近所の人とのコミュニケーションが少ない」が56.5%と多くなっています。

図表 49 子どもの教育に関する地域の課題 [N=683] 【年齢別】



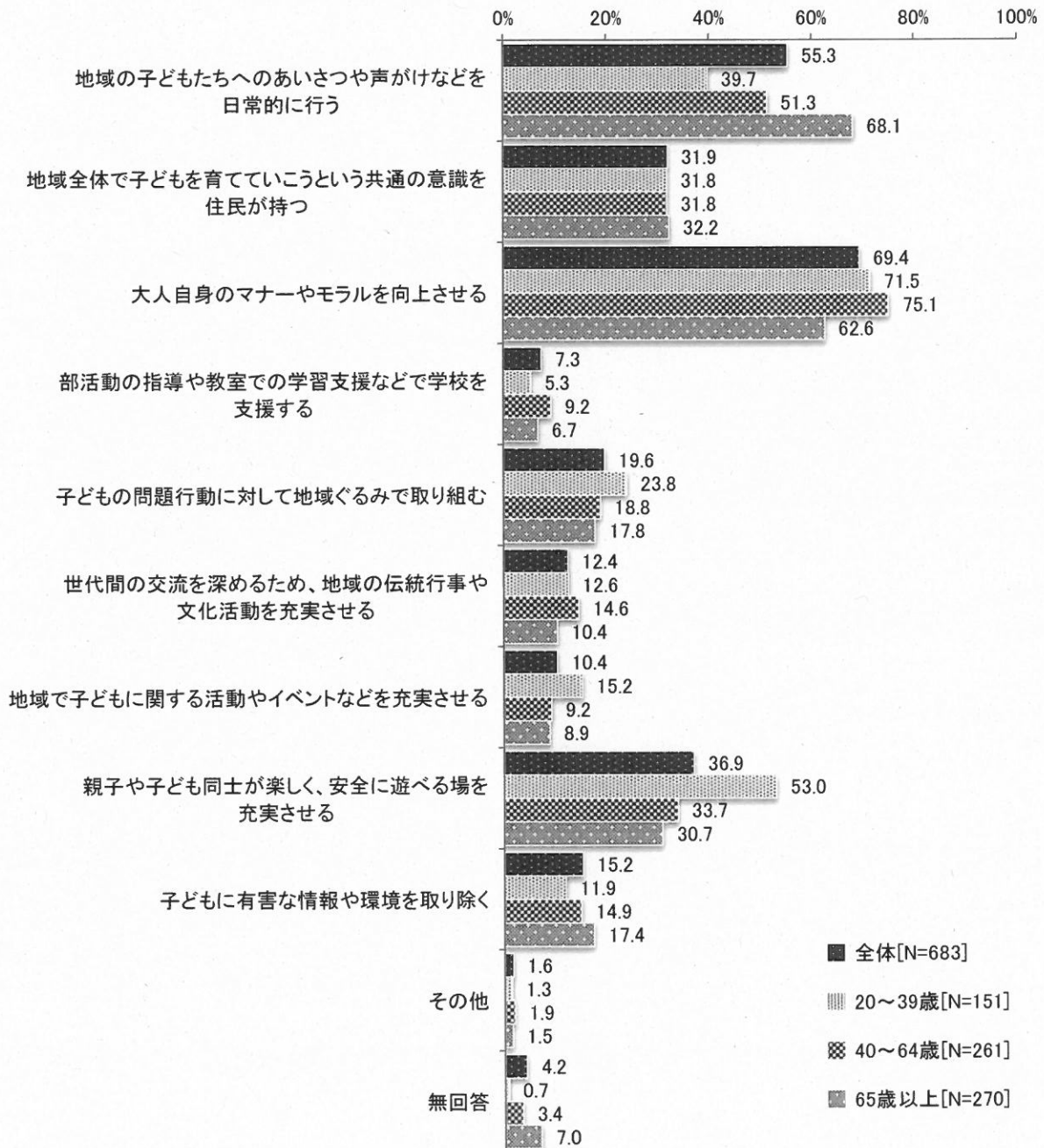
⑪地域で取り組むべきこと

問 32 あなたは、子どもたちを地域全体で育てていくために、地域でどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。（3つまで選んで○）

地域で取り組むべきことについては、「大人自身のマナーやモラルを向上させる」が69.4%、「地域の子どもたちへのあいさつや声かけなどを日常的に行う」が55.3%と多くなっています。

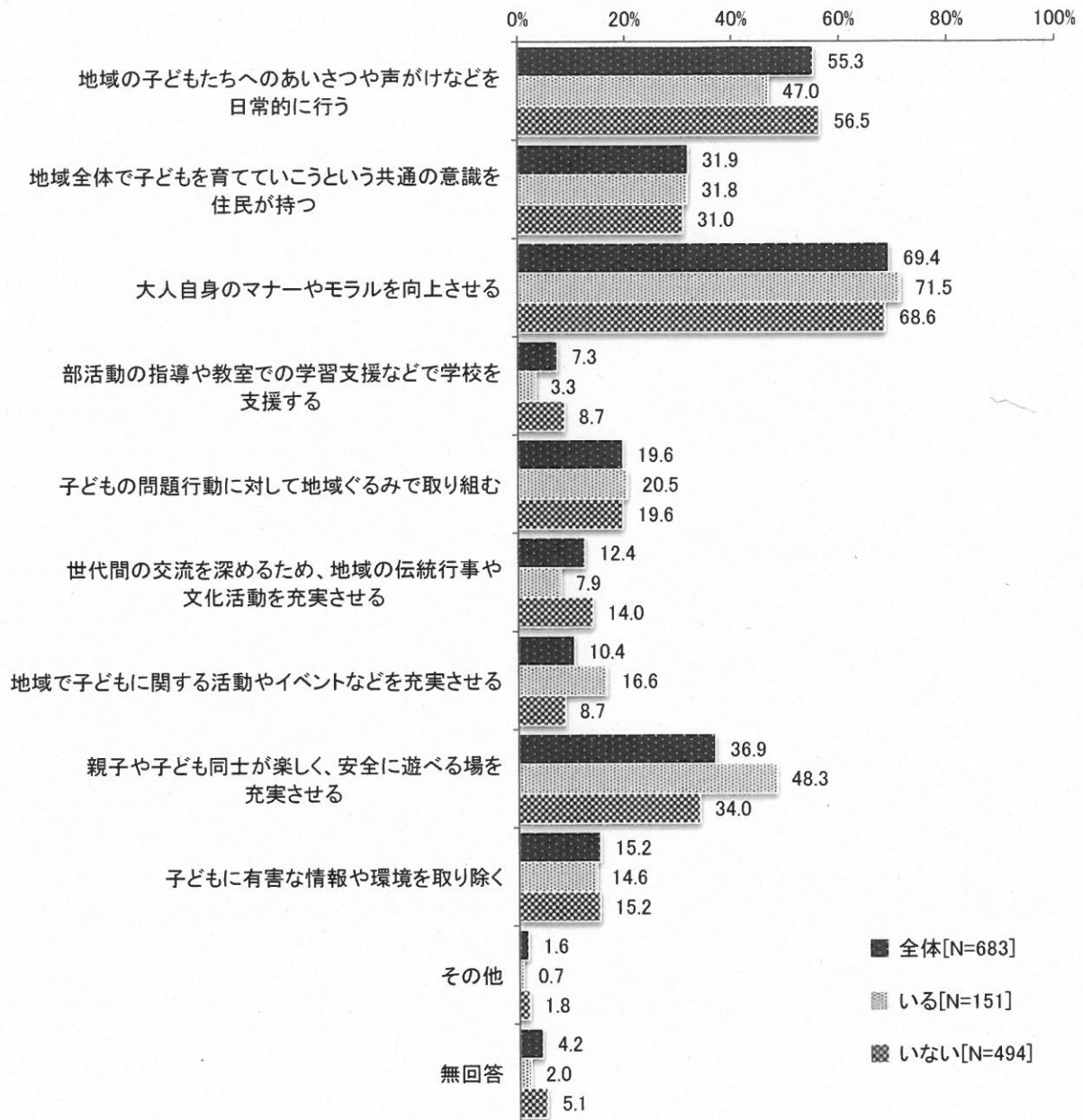
年齢別でみると、20～39歳の人で、「親子や子ども同士が楽しく、安全に遊べる場を充実させる」をあげる人が他の年齢層と比較して多くなっています。また、65歳以上の人では、「地域の子どもたちへのあいさつや声かけなどを日常的に行う」が多くなっています。

図表 50 地域で取り組むべきこと [N=683] 【年齢別】



世帯で子どもと同居しているかどうかでみると、子どもの同居者のいる人で、「親子や子ども同士が楽しく、安全に遊べる場を充実させる」をあげる人が比較的多くなっています。

図表 51 地域で取り組むべきこと [N=683] 【子ども同居有無別】



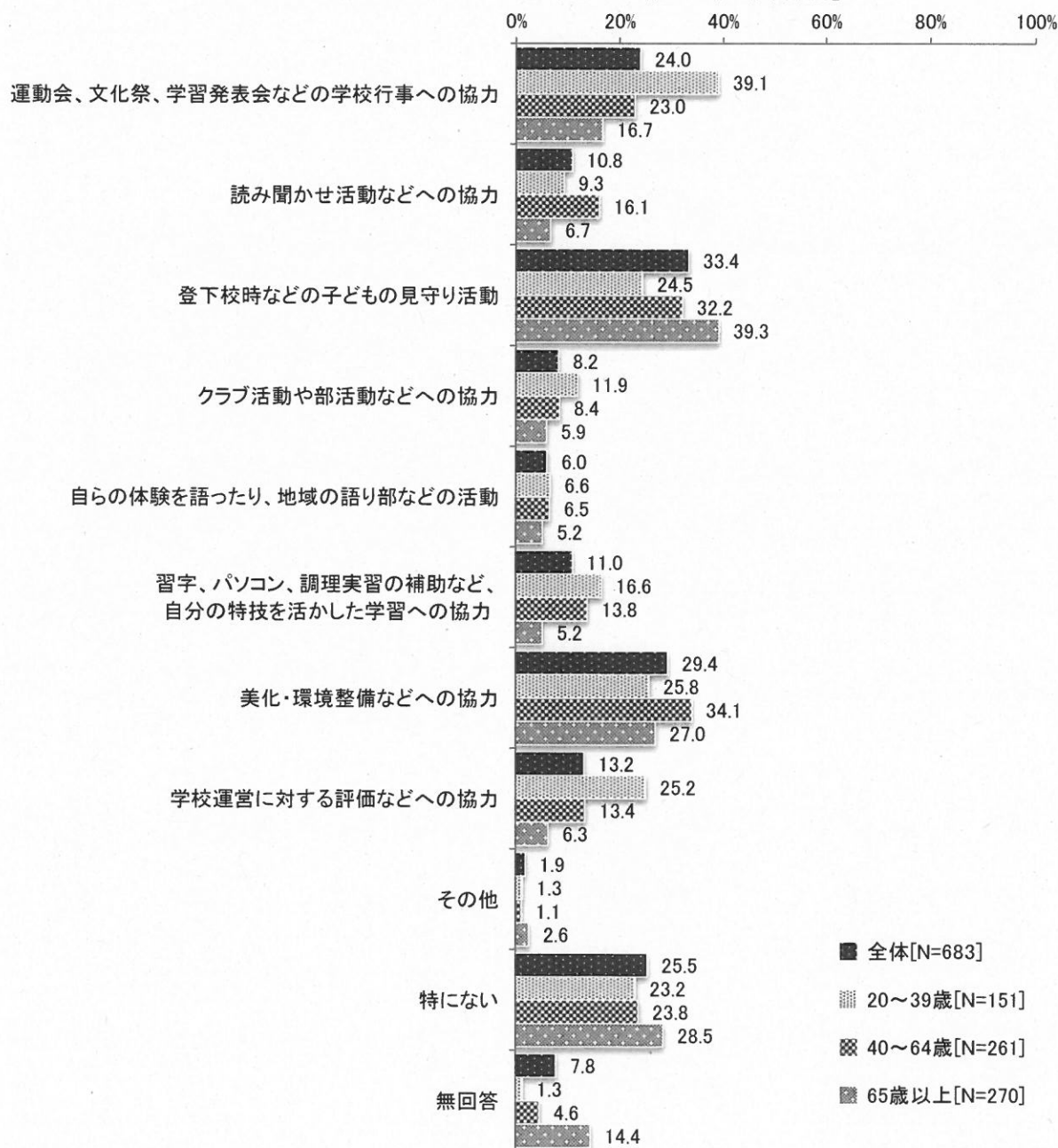
⑫学校に協力できると思うこと

問 33 あなたが今後、学校に対して協力できると思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

学校に対し、自分がどのような協力ができると思うかを聞いたところ、「登下校時などの子どもの見守り活動」が33.4%、「美化・環境整備などへの協力」が29.4%となっています。「特にない」という人は25.5%となっています。

年齢別でみると、20～39歳の人で、「運動会、文化祭、学習発表会などの学校行事への協力」をあげる人が他の年齢層と比べ多くなっています。また、65歳以上の人では、「登下校時などの子どもの見守り活動」が多くなっています。

図表 52 学校に協力できると思うこと [N=683] 【年齢別】



世帯で子どもと同居しているかどうかでみると、子どもの同居者がいる人で、「運動会、文化祭、学習発表会などの学校行事への協力」をあげる人が多くなっています。また、「美化・環境整備などへの協力」については、子どもの同居者の有無に関わらずほぼ同程度の割合となっています。

図表 53 学校に協力できると思うこと [N=683] 【子ども同居有無別】

